



インストール

この章は次のトピックで構成されています。

- [Cisco UCS X9508 サーバシャーシの設置に関する注意事項 \(1 ページ\)](#)
- [レール設置テンプレート \(14 ページ\)](#)
- [ケージナットの取り付け \(16 ページ\)](#)
- [レールキット \(20 ページ\)](#)
- [シャーシの取り付け \(22 ページ\)](#)
- [ラックからのシャーシの取り外し \(57 ページ\)](#)
- [シャーシの再梱包 \(57 ページ\)](#)

Cisco UCS X9508 サーバシャーシの設置に関する注意事項

次の注意事項および警告は、すべての設置作業に適用されます。



(注) システムの設置、操作、または保守を行う前に、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS](#)』を参照して重要な安全情報を確認してください。



注意 シャーシは、空の状態または事前に装着された状態で出荷されます。シャーシに事前に装着された状態で出荷された場合は、2つの下部背面スロットにある X-Fabric モジュールを取り外さないでください。インテリジェント ファブリック モジュールやファン モジュールなどの他の背面コンポーネントは、シャーシの重量を軽くするために取り外す必要があります。

PSU やコンピュータ ノードなどのシャーシの前面では、取り付け前にシャーシ全体の重量を軽減するために取り外すことができます。ただし、計算ノードと PSU を取り外しても、シャーシは依然としてかなりの重量を持っています。そのため、設置中は必ず、シザーズジャッキ、機器リフト、またはその他の機械を使用して、シャーシの重量を支えてください。

**警告** 安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告 この装置は立ち入り制限区域内に設置することが前提になっています。立ち入り制限区域とは、特別な器具、鍵、錠、またはその他の保全手段を使用しないと入ることができないスペースを意味します。ステートメント 1017



警告 この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



重要 シャーシ、モジュール、ノード、およびコンポーネントを扱うときは、常に手と指に注意してください。シャーシを輸送用コンテナまたは装置ラックから出し入れしたり、ラックに入れたり、出し入れしたりする場合は、手や指を挟む危険があります。

ピンチの可能性を排除するものではありませんが、シャーシには、取り扱いと移動を容易にするための把握ポイントが定義されています。シャーシの把握ポイントについては、[シャーシの取り扱い \(5 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 背面上部にある DO NOT LIFT ラベルに示されているように、上部背面シートメタルでシャーシを持ち上げたり、取り扱ったりしないでください。

ラックに関する要件

ここでは、標準的なオープンラックの設置に関する要件を示します。この要件は、周囲温度が 5 ~ 35 °C (41 ~ 95 °F) の範囲にあることを前提とします。



(注) 障害物のあるラックを使用しないでください。これらの障害物が原因で現場交換可能ユニット (FRU) にアクセスしにくくなる場合があります。

Cisco UCS は、EIA-310-D/E 準拠のラックに準拠しています。装置ラックも EIA-310-D/E 規格に準拠している必要があります。

Cisco UCS X9508 シャーシは、9.5 mm の角穴ラックまたは 7.1 mm のネジ山の無い丸穴ラックのいずれかに取り付けることができます。これらのラックには、それぞれ四角穴ケージナットまたは丸穴ケージナット（スプリングナットとも呼ばれます）が必要です。ケージナットとスプリングナットはシスコから提供されません。機器ラックに付属しています。ラックに適したケージナットまたはスプリングナットを使用してください。



注意 ラックによっては、ケージナット用の角穴または丸穴のパンチアウトではなく、ラックの板金に直接ねじ穴を開けてタップする場合があります。サーバーのレールキットは、現在、タップ付き（ネジ穴）ラックではサポートされていません。タップ付き（ねじ穴）の装置ラックにシャーシを設置しないでください。

また、次の追加要件にも注意してください。

- シャーシに付属する工具不要のラックマウントキット（タイプ1またはタイプ2）が必要です。各エンクロージャに付属の調節可能ラック レールは、73.66 cm（29 インチ）から 88.9 cm（35 インチ）まで伸縮します。
- 前面扉および背面扉：閉じる形式の前面扉および背面扉が装置ラックにある場合は、適切なエアフローを確保するため、穴あき部分（全体の 65 %）が扉の上部から下部まで均一に分散している必要があります。



注意 ブランクパネルを使用して、ラック内に残っているすべての空の前面パネルUスペースを必ず埋めてください。これにより、適切なエアフローを確保できます。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不十分になり、温熱損傷を引き起こすおそれがあります。

ラックは次の要件も満たしている必要があります。

- シャーシあたりの縦方向の使用可能なラック スペースが最小で7ラック ユニット（RU）（= 31.2 cm（12.25 インチ））ある必要があります。

エアフローに関する考慮事項

シャーシ内の通気は前面から背面に向かって流れます。空気はシャーシ前面にあるノードと電源装置の網目を通してシャーシ内に入り、シャーシ背面にあるファンモジュールから外に出ます。適切なエアフローが確保されるように、次の注意事項に従ってください。

- 正常に動作するようにデータセンター全体の周囲エアフローを保ってください。
- 空調要件を決定するときには、すべての機器の熱放散を考慮してください。あるシステムの排気が別のシステムの吸気にならないようにします。

- 通気要件を評価する際は、ラックの一番下にある機器によって暖められた空気がその上の機器の空気取り入れ口から取り込まれる可能性について考慮します。
- シャーシ背面の少なくとも 61 cm (24 インチ) の範囲において、排気の障害物がないことを確認してください。これには、乱雑なケーブル配線による障害物も含まれます。
- ノードへの適切なエアフローを確保するため、密閉型ラックを使用する場合、前面扉は 65% の穴あき型である必要があります。

アースの考慮事項

アースとアースのコンプライアンス



警告 この装置は、接地させる必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



警告 北欧諸国（ノルウェー、フィンランド、スウェーデン、デンマーク）では、このシステムは、必ずすべての機器のメインのアース接続電圧が等しい（等電位アース）アクセス制限区域に設置し、アース付電源コンセントに接続してください。ステートメント 328



警告 高リーク電流：システムの電源接続の前にアース接続を行う必要があります。ステートメント 342



警告 本機器は、電力を供給する前に、お客様が準備した地線を使用して外部接地する必要があります。接地が適正であるかどうかわからない場合は、電気検査機関または電気技術者に相談してください。ステートメント 366

アースラグ

シャーシをアースに接続するには、アースブラケットを取り付け、アース線とアースラグを組み立ててから、アースラグとアース線をアースブラケットに取り付けます。

アースラグは、アクセサリキットに含まれています。必要に応じて、追加のアースラグを Panduit などのサードパーティの小売業者から入手できます。



- (注) 次の情報は、北米での標準 AC 電源の設置に関するものです。場所によって異なる仕様が必要になる場合があります。設置場所に適したアースラグとアースケーブルを使用していることを確認します。

アースラグは、次の例のように 2 スタッドの銅製のラグである必要があります。



- (注) 端子カバーを使用する限りは、右側または左側を向いているプラスおよびマイナスの配線を設置できます。

供給線および帰線には Panduit LCD4-14A-L コネクタ (または同等品) を使用でき、90 度のアースラグ配線には、Panduit LCD4-14A コネクタ (または同等品) を使用できます。どちらのコネクタにも、中心から中心までの長さが 1.59 cm (0.625 インチ) の 0.64 cm (0.25 インチ) 穴付きのダブルラグがあります。

シャーシの取り扱い

ベストプラクティスとして、シャーシが空の状態ですべてのシャーシを扱い、はさみジャッキまたは複数の人で重量を支えます。

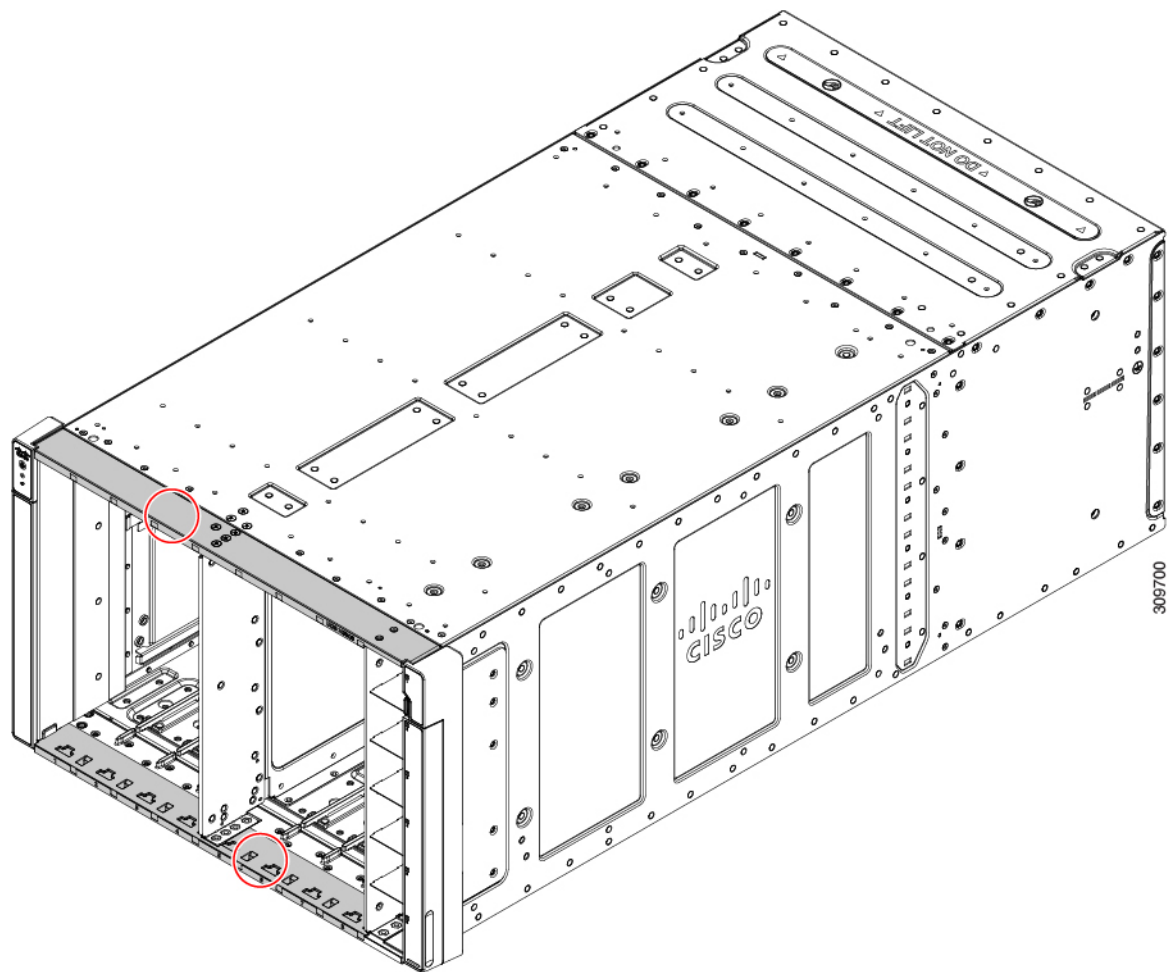
Cisco UCS X9508 には、シャーシを保持するためのエリアが定義されています (把握ポイント)。把握ポイントはシャーシ自体には示されていませんが、シャーシの取り扱いや移動を容易にします。

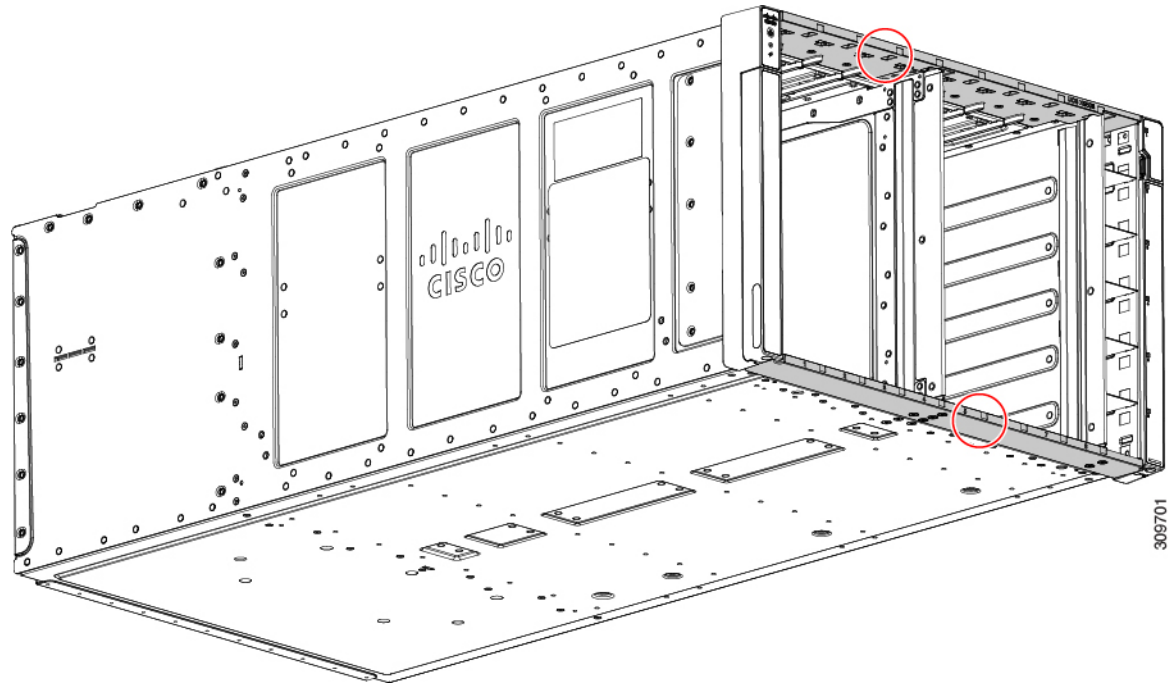


- 重要** シャーシ、モジュール、ノード、およびコンポーネントを扱うときは、常に手と指に注意してください。シャーシを輸送用コンテナまたは機器ラックに出し入れする場合など、狭い場所や狭い場所では、手や指を挟む危険性があります。

シャーシを取り扱う際は、次の点に注意してください。

- 前面の把握ポイント、水平

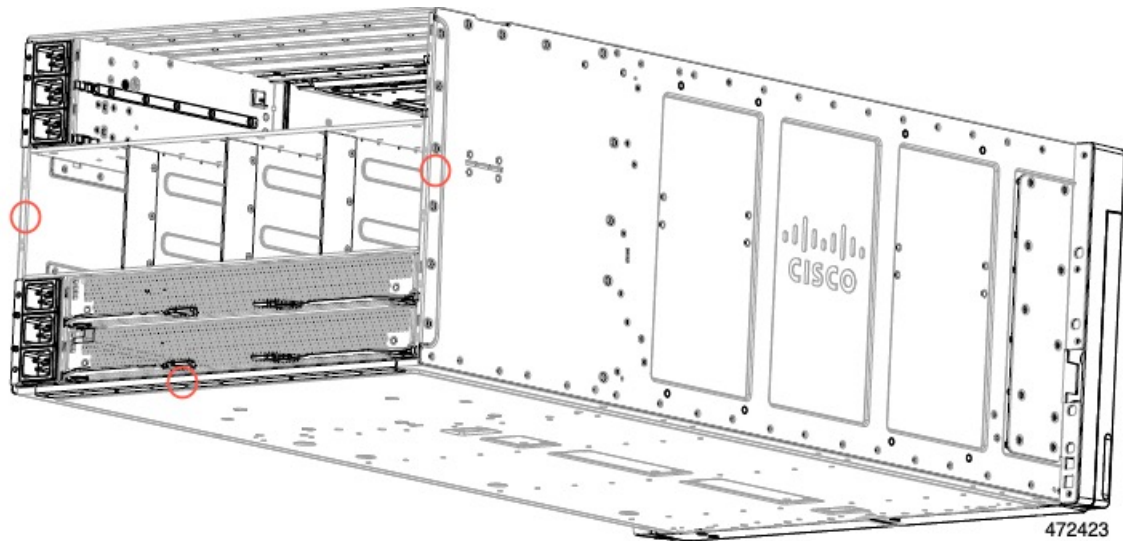




- 背面把握ポイント



(注) 背面上部にある DO NOT LIFT ラベルに示されているように、上部背面シートメタルでシャーシを持ち上げたり、取り扱ったりしないでください。



サーバシャーシの移動

完全に設定されたシャーシは非常に重量があります。シャーシを持ち上げるときは重量に注意するとともに、次のガイドラインに従ってください。



注意 機械的な補助がなければシャーシを持ち上げないでください。シャーシの重量はフル構成の181.43 kg、空の場合は41.73 kgです。使用可能な場合は、シザー ジャッキ、または重量のある機器をデータセンターのラックに設置することを目的に設計された吊り上げ装置を使用してください。

- シャーシを持ち上げる前に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
- シャーシを持ち上げる前に、すべてのIFM、電源装置、ファン、およびコンピューティング ノードをシャーシから取り外します。XFM がインストールされている場合は、それらを削除しないでください。代わりに、取り付け中はシャーシ内に残してください。
- 足元を安定させ、システムの重量が両足に等しく分散されるようにしてください。
- 空のシャーシを持ち上げる必要がある場合は、単独で持ち上げないでください。少なくとも1人の他の人から支援を受けます。システムは、背筋を伸ばしてゆっくりと持ち上げてください。背中ではなく足を使って持ち上げます。腰ではなくひざを曲げるようにしてください。

設置に関するガイドライン

シャーシを設置するときは、次のガイドラインに従います。

- シャーシを取り付ける前に、設置場所を検討して準備します。設置場所を計画する際に推奨される作業については、[設置場所の準備およびメンテナンス記録](#)を参照してください。詳細は、『[Cisco UCS Site Preparation Guide](#)』を参照してくださいを参照してください。
- シャーシを設置および設定するときに、[設置場所の準備およびメンテナンス記録](#)に示された情報を記録します。
- シャーシの周囲に、保守作業および通気のための十分なスペースがあることを確認します。
- 空調が、[技術仕様](#)に記載されている熱放散の要件に適合していることを確認してください。
- キャビネットまたはラックが、[ラックに関する要件 \(2 ページ\)](#)に記載された要件に適合していることを確認します。



(注) ラックではジャンパ電源コードを使用できます。[Cisco UCS X9508 シャーシ 電源モジュールユニットの仕様](#)を参照してください。

- 設置場所の電源が、**技術仕様**に記載された電源要件に適合していることを確認します。UCSシステムを保護するため、無停電電源装置（UPS）を使用することを推奨します。保護されていない電源装置を使用すると、入力供給電圧の変動または障害が原因でシステム障害が発生するリスクが生じます。

鉄共振テクノロジーを使用する UPS タイプは使用しないでください。このタイプの UPS は、Cisco UCS などのシステムに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になるおそれがあります。

- 回路の容量が、各国および地域の規格に準拠していることを確認します。北米では、電源装置には 20 A の回路が必要です。

入力電力の損失を防ぐため、シャーシに電力を供給する回路上の最大負荷の合計が、配線およびブレーカーの定格電流の範囲内に収まるようにしてください。

- シャーシの設置時には次のトルク値を使用します。

- M6 X 20 mm ネジ : 48 +/- 5 インチポンド

必要な工具

設置を開始する前に、次の工具を用意します。

- フル装備のシャーシの重量に耐えられるシザー ジャッキまたはその他のリフト装置（400 ポンド（181.43 kg））。
- No.1 および No.2 プラス ドライバ（トルク測定機能付き）
- マイナス ドライバ
- メジャーおよび水準器
- 静電気防止用リストストラップなどの静電気防止用器具
- 静電気防止用マットまたは静電気防止材

シャーシの開梱と点検



注意

シャーシのコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、モジュールのフレームの端だけを持ってください。



ヒント

シャーシを輸送する場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

この手順の一環として、空のシャーシを輸送用コンテナから移動します。次の注意事項に注意してください。



(注) シャーシを開梱して持ち上げるときは、手袋を着用すると便利です。また、挟まれる危険を避けるために、シャーシを開梱、持ち上げ、移動するときは、手や指の置き方に注意してください。



注意 シャーシの重量を軽くするには、シャーシの前面から計算ノードと PSU を取り外します。シャーシの背面から IFM とファンモジュールを取り外しますが、XFM はシャーシの下部背面スロットに取り付けたままにします。これらの部品を取り除いても、シャーシはかなりの重量を持っています。シャーシを移動または設置するときは、常にハサミジャッキ、機器リフト、またはその他の機械装置を使用してシャーシを持ち上げて支えてください。



警告 2人以上で空のシャーシを持ち上げます。シャーシを一人で持ち上げようとししないでください。シャーシを持ち上げたり移動したりするときは、常に安全な持ち上げ方法で行ってください。シャーシを持ち上げて移動するときは、リフト ジャッキまたはシザーズ ジャッキを使用してシャーシを支えます。

ステップ 1 このトピックの前述の警告と、次のトピックの情報を読んで理解してください。

- [Cisco UCS X9508 サーバシャーシの設置に関する注意事項 \(1 ページ\)](#)
- [シャーシの取り扱い \(5 ページ\)](#)
- [サーバシャーシの移動 \(8 ページ\)](#)

ステップ 2 シャーシの発送コンテナを開きます。

- a) 上部と側面のパネルを取り外して、シャーシが下部のパレットに収まるようにします。
- b) 梱包材はすべて保管しておいてください。

ステップ 3 シャーシを目視検査して、輸送中に損傷がないことを確認します。

ステップ 4 カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合し、次の品目が揃っていることを確認します。

- アクセサリキット :

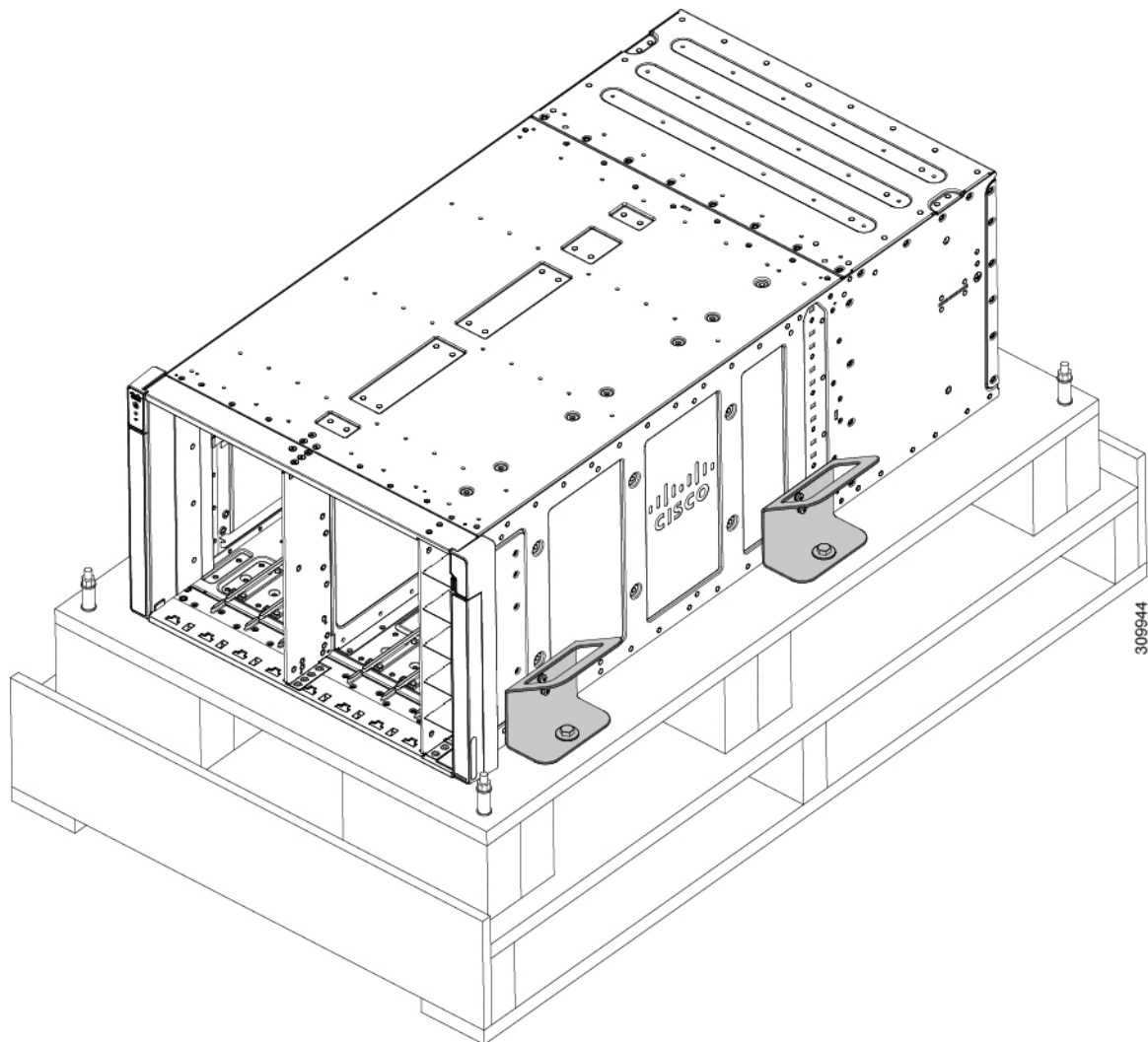
- M6 ケージナット (4)
 - M6 X 20 mmL ネジ (16)
 - 電源ケーブル管理アーム (2) 、 UCSX-9508-PCMA
 - ESD ストラップ (クリップ終端)
 - レールキット、UCSX-9508-RAIL1 =
- すべての印刷文書
 - アクセサリキットに含まれるオプションの品目。システムと一緒に注文した場合にのみ付属します。
 - 背面取り付けブラケット (左ブラケット 1 個、右ブラケット 1 個) 、 UCSX-9508-RACKBK。これらのぶらっケットはオプションです。シャーシを出荷可能なラックに設置する場合にのみ発注してください。ラックを輸送する予定がない場合は、これらのブラケットは不要です。
 - コンピューティングノードデバッグケーブル UCSX-C-DEBUGCBL。

ステップ 5 使用されていないすべてのノードスロットと電源装置ベイにブランクカバーが取り付けられていることを確認します。

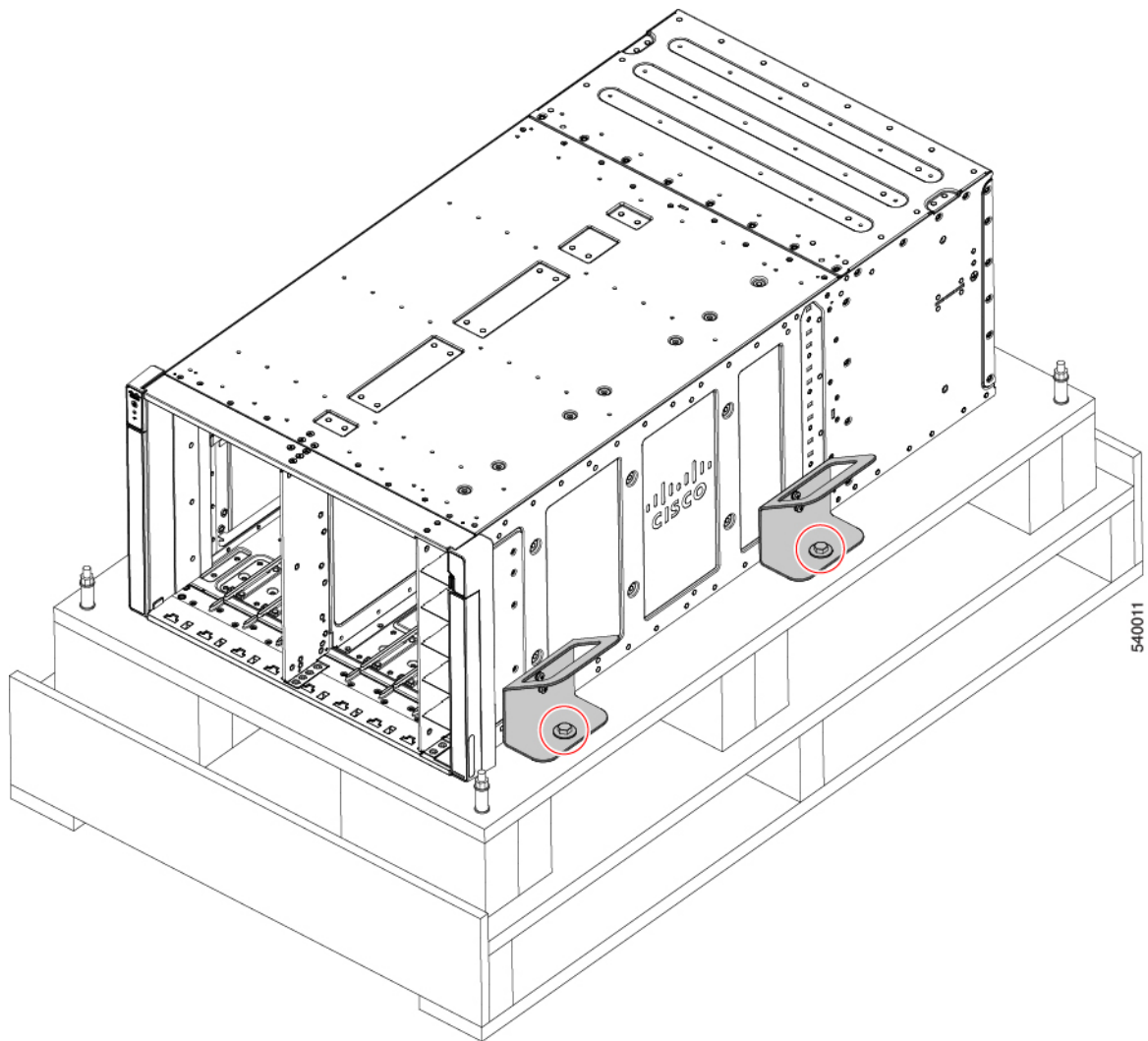
ステップ 6 シャーシにハードウェアが事前に取り付けられた状態で出荷された場合は、出荷用コンテナから持ち上げる前に、すべてのコンピュータノード、および PSU、ファン、IFM を取り外して、シャーシの重量を大幅に減らしてください。ブランクの前面プレートは取り付けたまにすることができます。XFM は、下部の 2 つの背面シャーシスロットに取り付けたままにします。

警告 シャーシを持ち上げないでください。シャーシは、XFM を除くすべてのモジュールを取り外してもかなりの重量があります。シザーズ ジャッキの機械式リフトを使用して、シャーシを持ち上げて重量を支えます。

ステップ 7 シャーシハンドルを見つけます。これは、シャーシを下部パレットに固定する安定ブラケットでもあります。



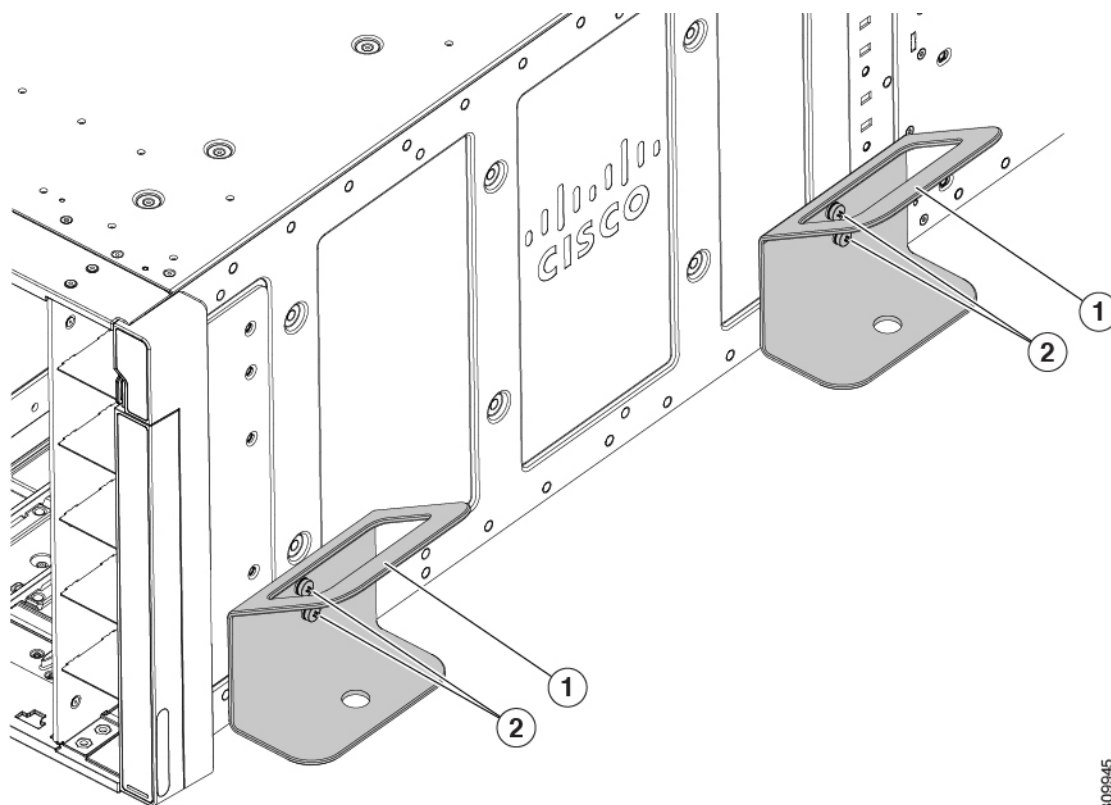
- ステップ 8** 13 ミリのソケット ドライバーを使用して、4 本の M8 六角頭固定ボルト（片側 2 本）を取り外します。
（注） 固定ボルトは保管しておきます。



ステップ 9 2人以上でハンドルをつかみ、空のシャーシを下部パレットから持ち上げて、シャーシの重量を支えることができるリフトまたはシザーズ ジャッキにシャーシを置きます。

ステップ 10 シャーシを装置ラックに取り付ける前に、#2プラス ドライバを使用して、ハンドルをシャーシに固定している2本の M5 ネジ（ハンドルごとに2本）を取り外します。

（注） ハンドルとネジを保管します。



309945

1	シャーシハンドル、両側に2つ	2	M5 ネジ、ハンドルごとに2本
---	----------------	---	-----------------

レール設置テンプレート

2つのレールキットを使用できます。各輸送用コンテナには、左右のレールがセットになっています。レールキットごとに、このドキュメントの以降のセクションで参照できるように、対応するテンプレートが用意されています。テンプレートには、ケージナット、レールキットのロケータペグ、およびネジを取り付けるためのラック上の位置が示されています。

テンプレートを使用すると、ラックの左右両側に適切な間隔で取り付け金具を配置できるため、レールキットとシャーシを簡単に取り付けることができます。シャーシには、ラックの前面用と背面用に1つのテンプレートがあります。

レール取り付けテンプレートは、角穴または丸穴の機器ラックに適用できます。

各レール取り付けテンプレートについては、次を参照してください。

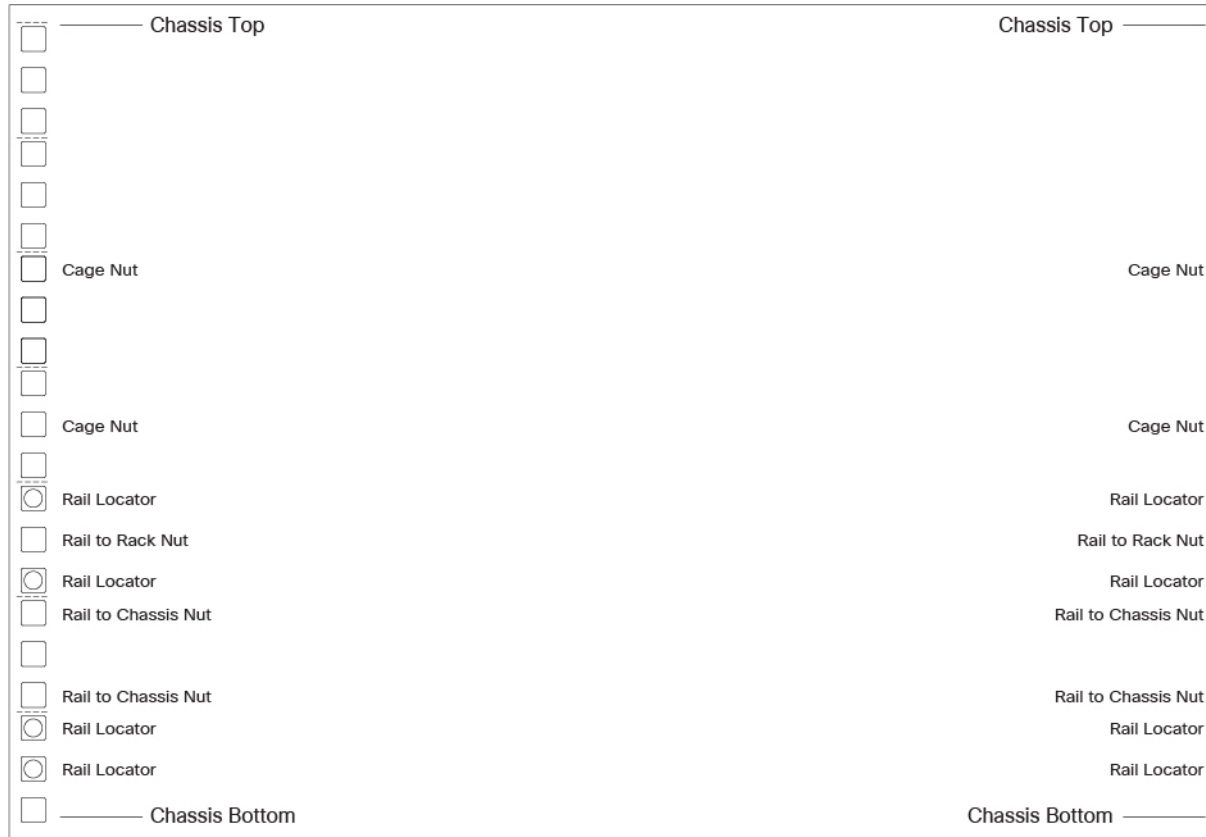
- [前面インストールテンプレート \(15 ページ\)](#)
- [背面取り付けテンプレート \(15 ページ\)](#)

前面インストールテンプレート

この設置を使用して、ラック上のシャーシ取り付け金具の正しい間隔と位置を確認します。このテンプレートは、シャーシの前面を取り付けるためのラックの位置を示します。

テンプレートのシャーシ上部を、シャーシの上部となるラック内の位置に合わせて、図のようにケージナットとその他のハードウェアを取り付けます。

図 1:ラック取り付けテンプレート、前面



背面取り付けテンプレート

この取り付け用具を使用して、ラック上のシャーシ取り付け金具の正しい間隔と位置を確認します。このテンプレートは、シャーシの背面を取り付けるためのラックの位置を示します。

テンプレートのシャーシ上部を、シャーシの上部となるラック内の位置に合わせて、図のようにケージナットとその他のハードウェアを取り付けます。

図 2: ラック取り付けテンプレート、背面



(注) テンプレートの上部近くに示されている 8 個のケージナット（片側に 4 個）は、背面固定ブラケットを取り付ける場合にのみ必要です。これは注文可能なオプションですが、基本的な取り付けには必要ありません。

ケージナットの取り付け

Cisco UCS X9508 シャーシは、正方形または丸い穴の標準サイズの未使用の機器ラックに設置できます。詳細については、[ラックに関する要件 \(2 ページ\)](#) を参照してください。X9508 サーバーは、角穴または丸穴ケージに取り付けるレールキットでサポートされます。



注意 タップされていない装置ラックの場合は、ケージナットを取り付けて、レールとシャーシをラックに固定するネジを取り付ける必要があります。

機器ラックのタイプに応じて、適切なオプションを使用してください。

- [ケージナットの取り付け、角穴ラック \(17 ページ\)](#)

- [ケージナットの取り付け、丸穴ラック \(18 ページ\)](#)

ケージナットの取り付け、角穴ラック

次のタスクを使用して、12 個の M6x1.00 四角穴ケージナットを 9.5 mm ネジなし四角穴ラックに取り付けます。スプリングナットはシスコから提供されていません。装置ラックに付属しています。

始める前に

このドキュメントでは、シャーシの前面および背面の取り付けテンプレートの図を示します。このテンプレートは、レールとケージナットを配置する適切な穴を確認するために使用します。ラックの穴をテンプレートに合わせたら、ラックの穴にマークを付けて使いやすくします。

ラック取り付けテンプレートを使用するには、該当するトピックに移動します。

- [前面インストールテンプレート \(15 ページ\)](#)
- [背面取り付けテンプレート \(15 ページ\)](#)

ステップ 1 M6 ケージナットとマイナスドライバを用意します。

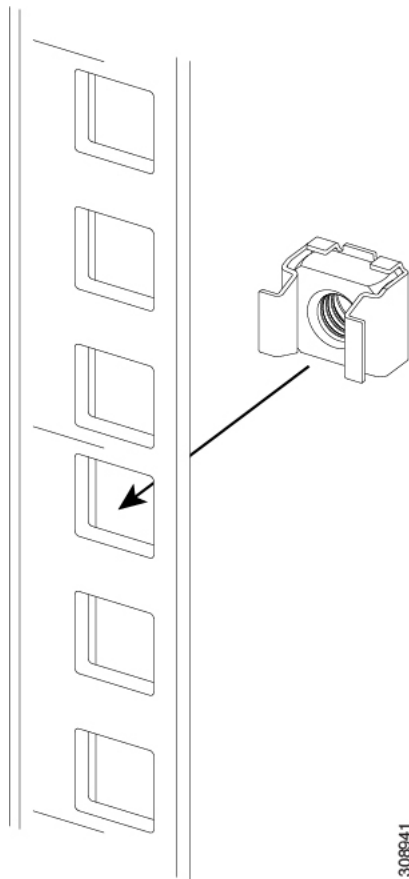
ステップ 2 テンプレートを見つけ、ラック内のシャーシの位置とテンプレート上のケージナットの位置を参照します。

ステップ 3 ケージナットの丸まった側面の 1 つを、ラックの正方形の切り欠きの内側に配置します。

ステップ 4 ケージナットをカットアウトに押し込み、ドライバを使用して、ケージナットがラックの所定の位置にカチッと収まるまで、もう一方の端を内側につまみます。

(注) ケージナットは、ほとんどのナットがラックのシートメタルの背後にくるようにラックの内側に取り付けます。

図 3: ケージナットの取り付け



ステップ 5 残りのケージナットを取り付ける前に、ケージナットが完全に正しく取り付けられていることを確認します。

ケージナットの取り付け、丸穴ラック

次のタスクを使用して、12 個の M6x1.00 丸穴ケージナット（スプリングナットとも呼ばれます）を 7.1 mm のネジなし丸穴ラックに取り付けます。スプリングナットはシスコから提供されていません。装置ラックに付属しています。

始める前に

このドキュメントでは、シャーシの前面および背面の取り付けテンプレートの図を示します。このテンプレートは、レールとケージナット（スプリングナット）を配置する適切な穴を確認するために使用します。ラックの穴をテンプレートに合わせたら、ラックの穴にマークを付けて使いやすくします。

ラック取り付けテンプレートを使用するには、該当するトピックに移動します。

- [前面インストールテンプレート \(15 ページ\)](#)
- [背面取り付けテンプレート \(15 ページ\)](#)

ステップ1 M6 スプリング ナットとマイナス ドライバを用意します。

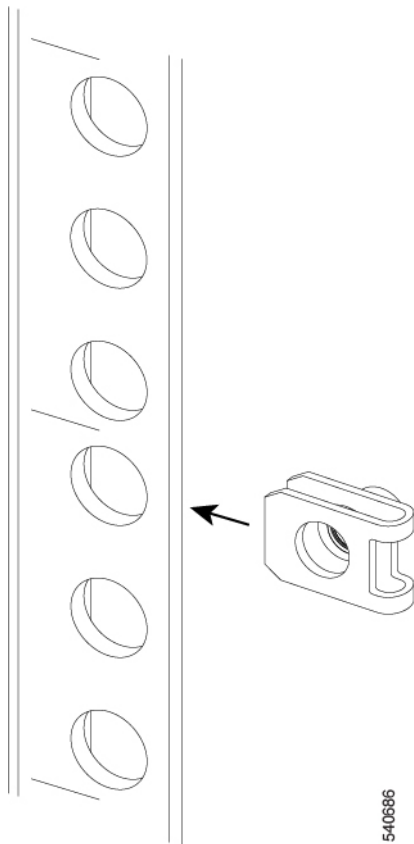
ステップ2 ラック取り付けテンプレートを使用して、ラック内のシャーシの位置とテンプレート上のスプリングナットの位置を参照します。

ステップ3 ラックの板金がスプリングナットの板金の間隙（ラックの四角い切り欠きの内側にあるケージナット）に滑り込むことができるように、スプリングの開口端を配置します。

ステップ4 スプリングナットをスライドさせて、その丸い穴が機器ラックの丸い穴と合うようにします。

(注) ケージナットは、ほとんどのナットがラックの板金の背後にくるように取り付けます。

(注) 必要に応じて、マイナスドライバを使用して、スプリングナットの板金間隙を少しこじ開けて、丸い穴の上でラックにスライドできるようにします。



ステップ5 残りのケージナットを取り付ける前に、ケージナットが完全に正しく取り付けられていることを確認します。

レールキット

Cisco UCS X9508 は、タイプ 1 とタイプ 2 の 2 つのレールキットをサポートします。

- 各レールキットは、シャーシのラックへの取り付けを容易にし、ラック内のシャーシを安定させる 2 本の固定レールで構成されています。
- 各レールは、ラックの奥行に合わせて延長されます。レールは、シャーシをラックから引き出してシャーシの側面にアクセスできるスライド式の棚ではありません。
- 各レールキットは、9.5 mm の角穴の機器ラックまたは 7.1 mm の丸穴の装置ラックに収まります。



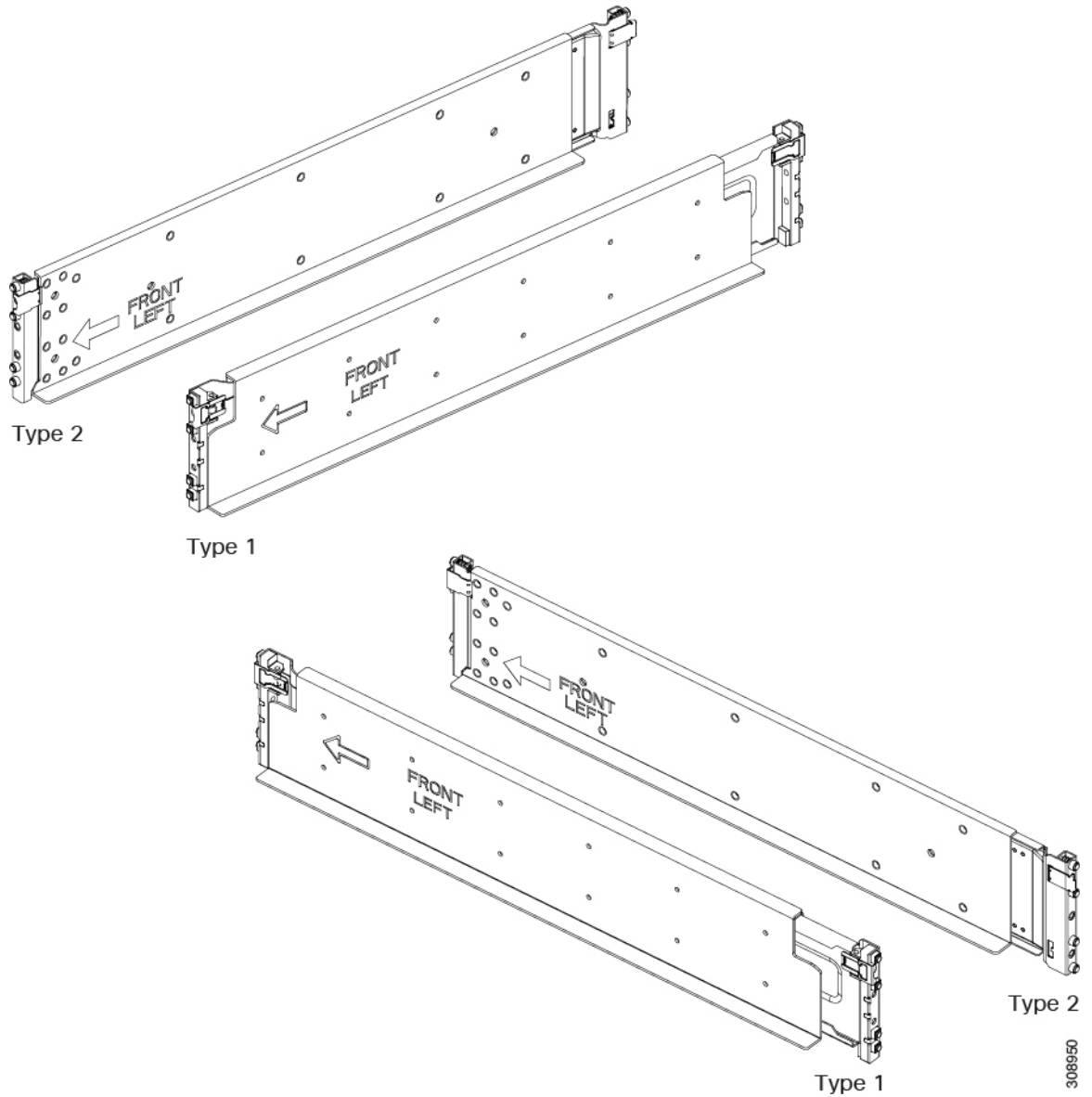
注意 ラックによっては、ケージナット用の角穴または丸穴のパンチアウトではなく、ラックの板金に直接ねじ穴を開けてタップする場合があります。サーバーのレールキットは、現在、タップ付き（ネジ穴）ラックではサポートされていません。タップ付き（ねじ穴）の装置ラックにシャーシを設置しないでください。

レールは、各シャーシに付属するアクセサリキットで出荷されます。各レールキットには、一致するペアとして左側と右側が含まれています。シャーシをしっかりと支持するには、両側をラックに取り付ける必要があります。

複数の UCS X9508 シャーシを注文した場合は、両方のタイプのレールキットが付属しています。たとえば、4 シャーシの出荷では、すべて 1 つのタイプのレールキット、または各タイプのレールキットを含む少数のシャーシが含まれる場合があります。

2 種類のレールキットを比較します。

図 4:2 種類のレールキット



レールキットは、いくつかの例外を除き、サイズ、機能、構造が類似しています。

- レールの上部隅にあるリリースタブのタイプ
- ロケーターペグのタイプは、丸穴ラックと角穴ラックのどちらを使用するかに応じて、丸または四角になります。レールを一時的にラックに保持して両手を自由に使用できるロケーターペグ。
- レールの背面にあるネジ穴の位置

シャーシの取り付け

このセクションでは、角穴のネジ山のない機器ラックまたは丸穴のネジ山のない機器ラックにシャーシを設置する方法について説明します。これは2つのプロセスからなります。まずレールをラックに取り付けてから、ラックの中、レールの上にシャーシを取り付けます。



注意 完全に設定されたシャーシの重量は約 400 ポンド (163.29 kg) です。シャーシを一人で持ち上げようとししないでください。代わりに、シャーシリフトまたはその他の装置を使用して、シャーシを持ち上げながらシャーシの重量を支えてください。



注意 ラックにキャスターが付いている場合は、ブレーキがかかっていること、固定用パッドが適切に使用されていること、または他の方法でラックが固定されていることを確認してください。



警告 いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。 **ステートメント 1019**



注意 シャーシを施設の電源に接続する場合は、PDUまたは電源タップの容量が過負荷にならないようにしてください。たとえば、すべてのPSUを、シャーシの総電力を供給できない1つのPDUまたは電源タップに接続しないでください。



重要 シャーシ、モジュール、ノード、およびコンポーネントを扱うときは、常に手と指に注意してください。シャーシを輸送用コンテナまたは機器ラックに出し入れする場合など、狭い場所や狭い場所では、手や指を挟む危険性があります。

ピンチの可能性を排除するものではありませんが、シャーシには、取り扱いと移動を容易にするための把握ポイントが定義されています。シャーシの把握ポイントについては、[シャーシの取り扱い \(5 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 設置を完了するには、シャーシをアースに接続する必要があります。これには、シスコが提供するアースラグが必要です。の「アースラグ」を参照してください。[アースの考慮事項 \(4 ページ\)](#)

該当する場合、次の設置トピックには、角穴ラックと丸穴ラックのオプションがあります。ラックのタイプに基づいて適切なトピックを選択してください。

レールの取り付け、角穴ラック

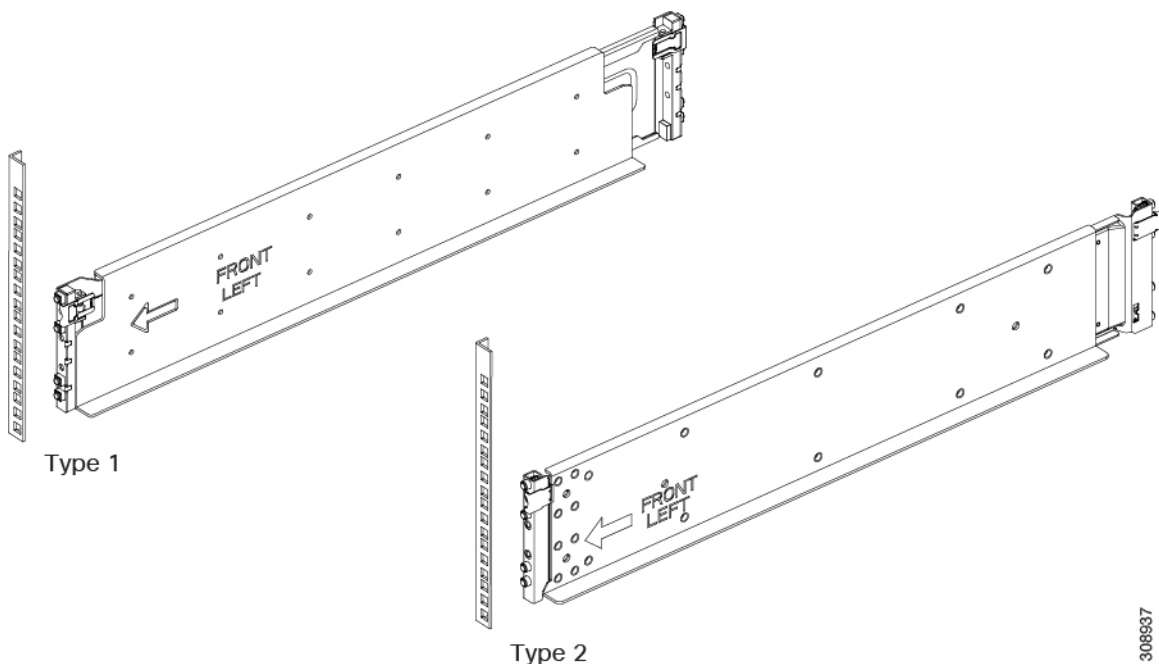
次のタスクを使用して、12 個の M6x1.00 角穴ケージナットを使用して、角穴のネジなし装置ラックにレールキットを取り付けます。

始める前に

ラック取り付けテンプレートの図を使用して、ラック上の正しいケージナットとレールの位置をマークしていることを確認します。[レール設置テンプレート \(14 ページ\)](#) を参照してください。

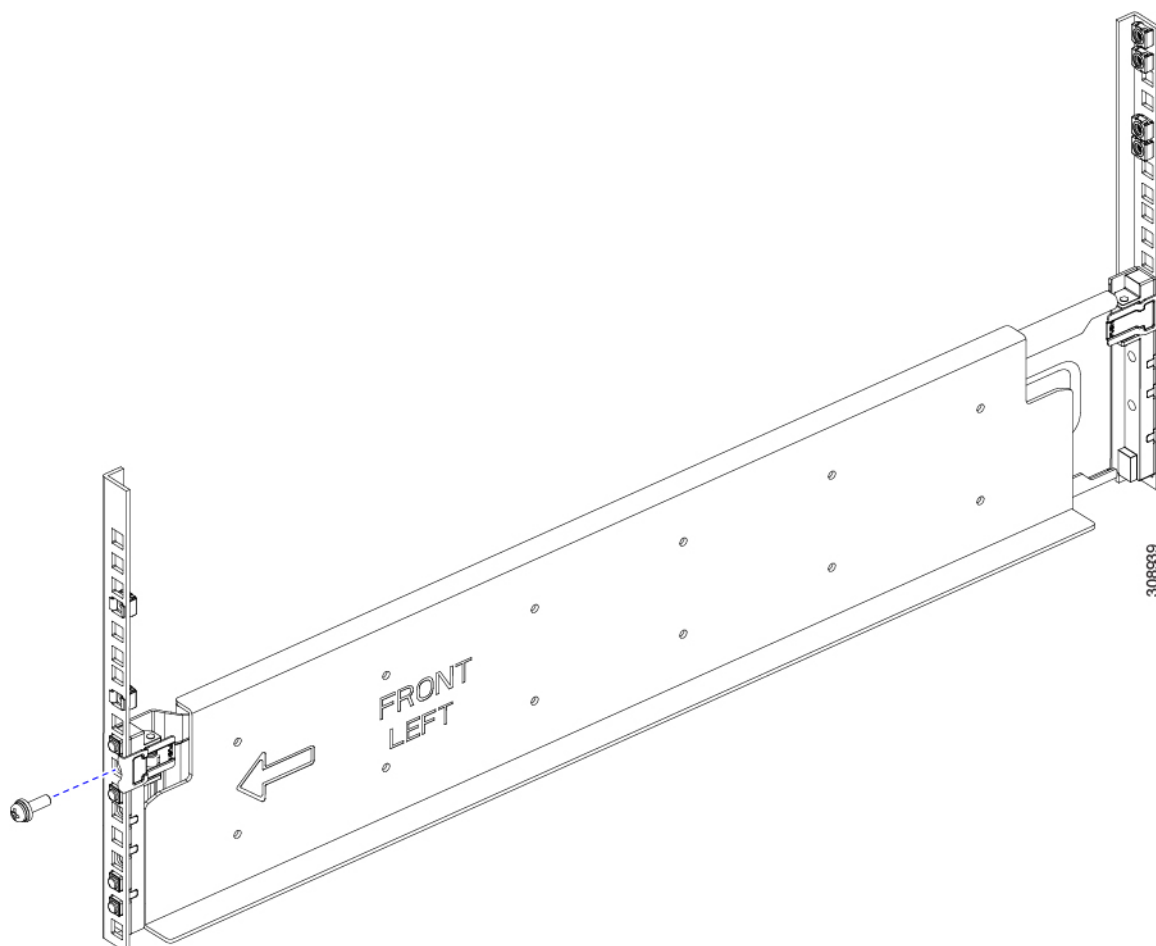
- ステップ 1** ラックの深さに合うようにレールの端を前後にスライドさせて、レールの長さを調整します。
- ステップ 2** ラックの前面で、前面取り付けテンプレートを使用して、レール上の 2 つのロケータペグをラック内の対応する位置に配置します。[前面インストールテンプレート \(15 ページ\)](#) を参照してください。
- ロケータペグはレールをラックに固定するため、レールを固定する必要はありません。
- ステップ 3** ラックの背面で、背面取り付けテンプレートを使用して、レール上の 2 つのロケータペグをラック内の対応する位置に配置します。[背面取り付けテンプレート \(15 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 4** 他のラックレールを取り付けるには、上記の手順を繰り返します。

図 5: ラックの前面へのレールの取り付け



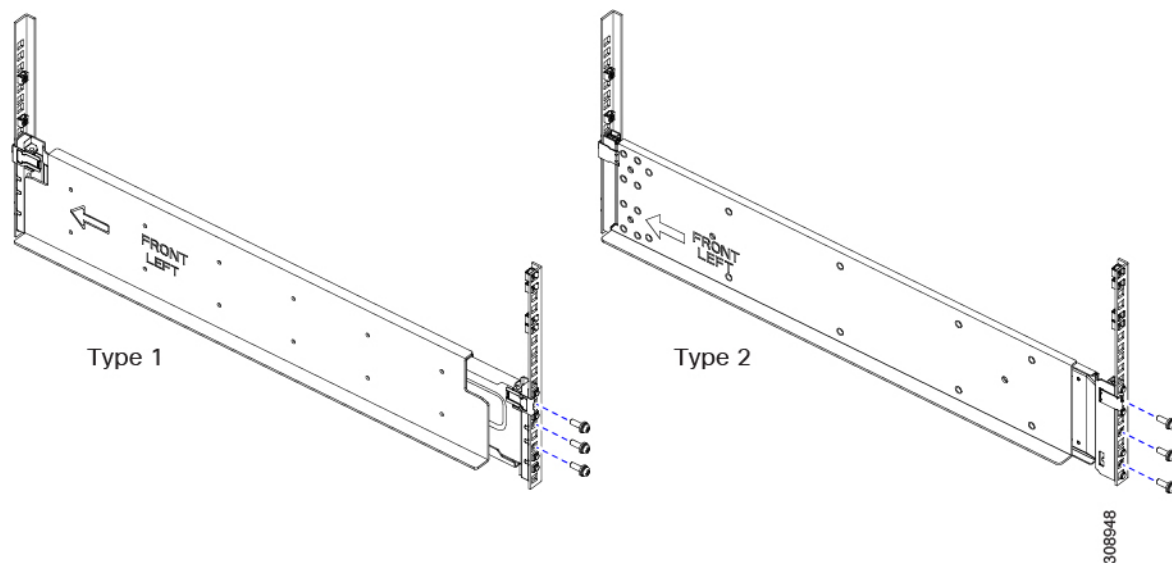
- ステップ 5** (オプション) メジャーと水準器を使用して、ラック レールが水平で同じ高さにあることを確認します。
- ステップ 6** ラックの前面で、テンプレートを参照し、各前面レールにネジを挿入して、各レールをラックの正しい位置に固定します。

図 6: 前面のレールをラックに固定する



ステップ 7 ラックの背面で、テンプレートを参照し、各背面レールにネジを挿入して、各レールをラックの正しい位置に固定します。

ステップ 8 図 7: ラックの背面でレールを固定する



次のタスク

レールが正しく取り付けられていることを確認します。「[レール設置レイアウト、角穴ラック \(28 ページ\)](#)」を参照してください。

レールの取り付け、丸穴ラック

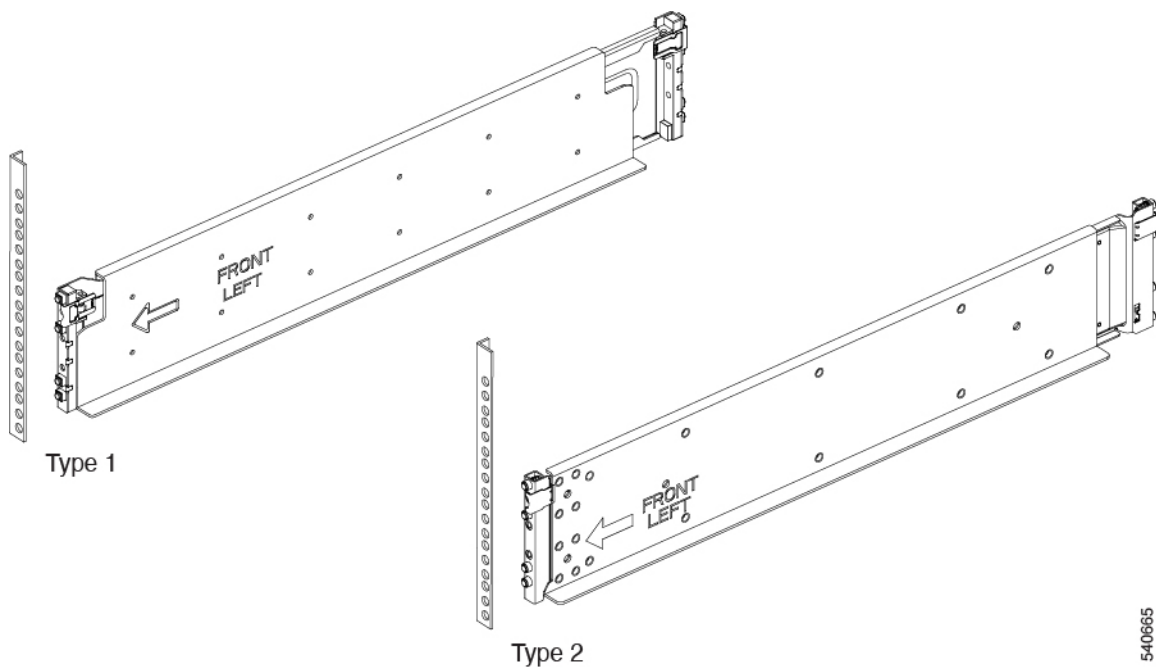
次のタスクを使用して、12 個の M6x1.00 丸穴スプリング ナットを使用して、丸穴のネジなし装置ラックにレールキットを取り付けます。

始める前に

ラック取り付けテンプレートの図を使用して、ラック上の正しいケージナット（スプリング ナット）とレールの位置をマークしていることを確認します。[レール設置テンプレート \(14 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ 1** ラックの深さに合うようにレールの端を前後にスライドさせて、レールの長さを調整します。
- ステップ 2** ラックの前面で、前面取り付けテンプレートを使用して、レール上の 2 つのロケータペグをラック内の対応する位置に配置します。[前面インストールテンプレート \(15 ページ\)](#) を参照してください。
- ロケータペグはレールをラックに保持するため、レールを固定する必要はありません。
- ステップ 3** ラックの背面で、背面取り付けテンプレートを使用して、レール上の 2 つのロケータペグをラック内の対応する位置に配置します。[背面取り付けテンプレート \(15 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 4** 他のラックレールを取り付けるには、上記の手順を繰り返します。

図 8: ラックの前面へのレールの取り付け

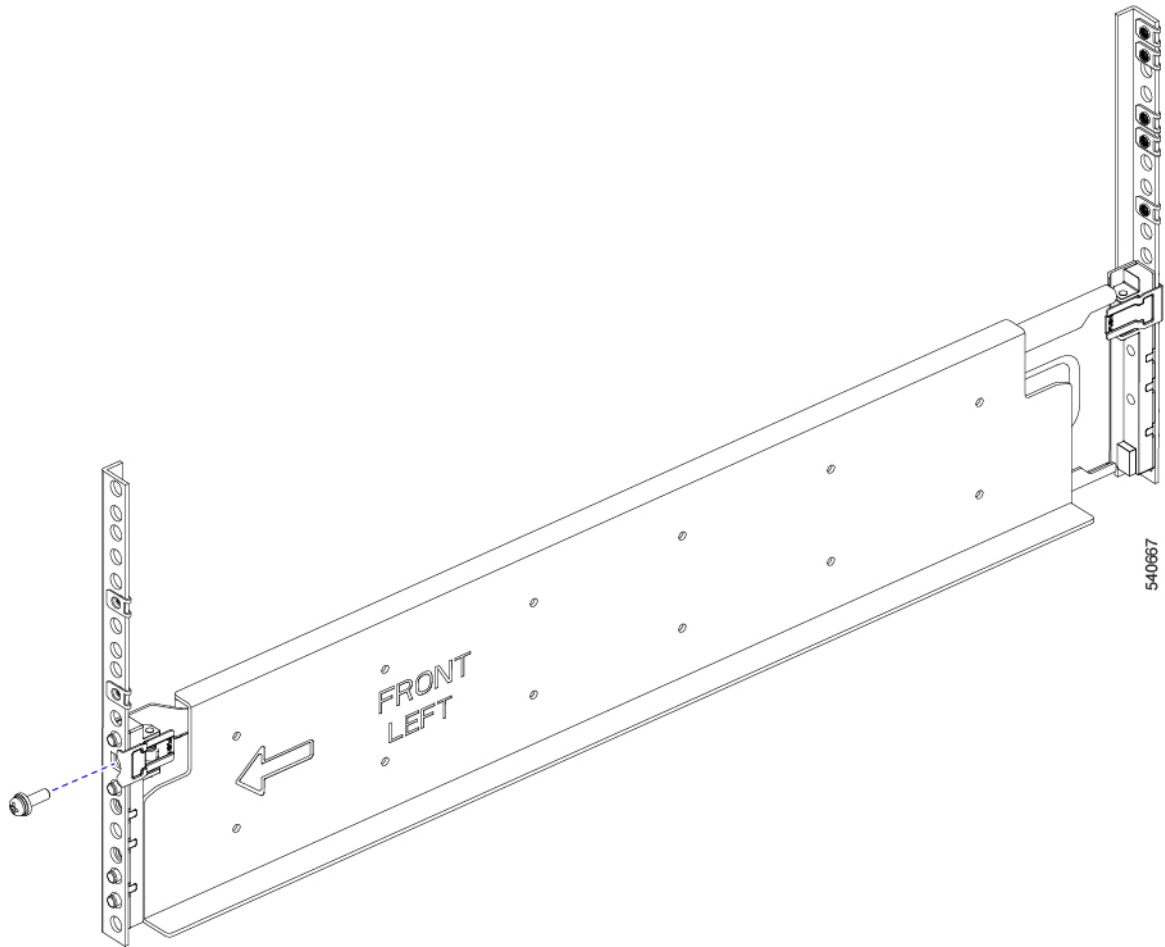


540665

ステップ 5 (オプション) メジャーと水準器を使用して、ラック レールが水平で同じ高さにあることを確認します。

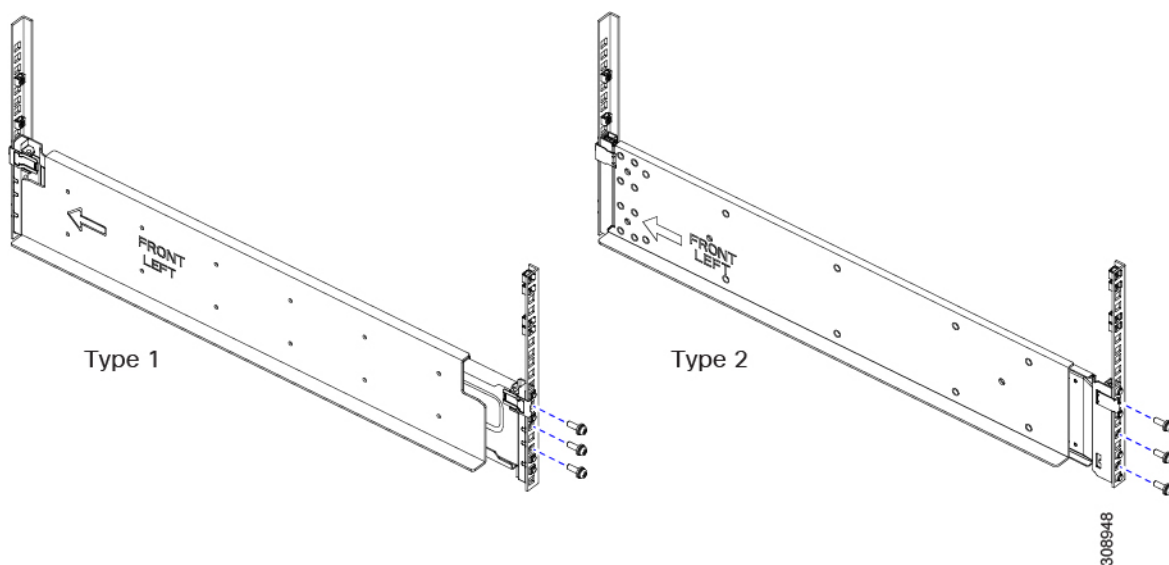
ステップ 6 ラックの前面で、テンプレートを参照し、各前面レールにネジを挿入して、各レールをラックの正しい位置に固定します。

図 9: 前面のレールをラックに固定する



ステップ 7 ラックの背面で、テンプレートを参照し、各背面レールにネジを挿入して、各レールをラックの正しい位置に固定します。

ステップ 8 図 10: ラックの背面でレールを固定する



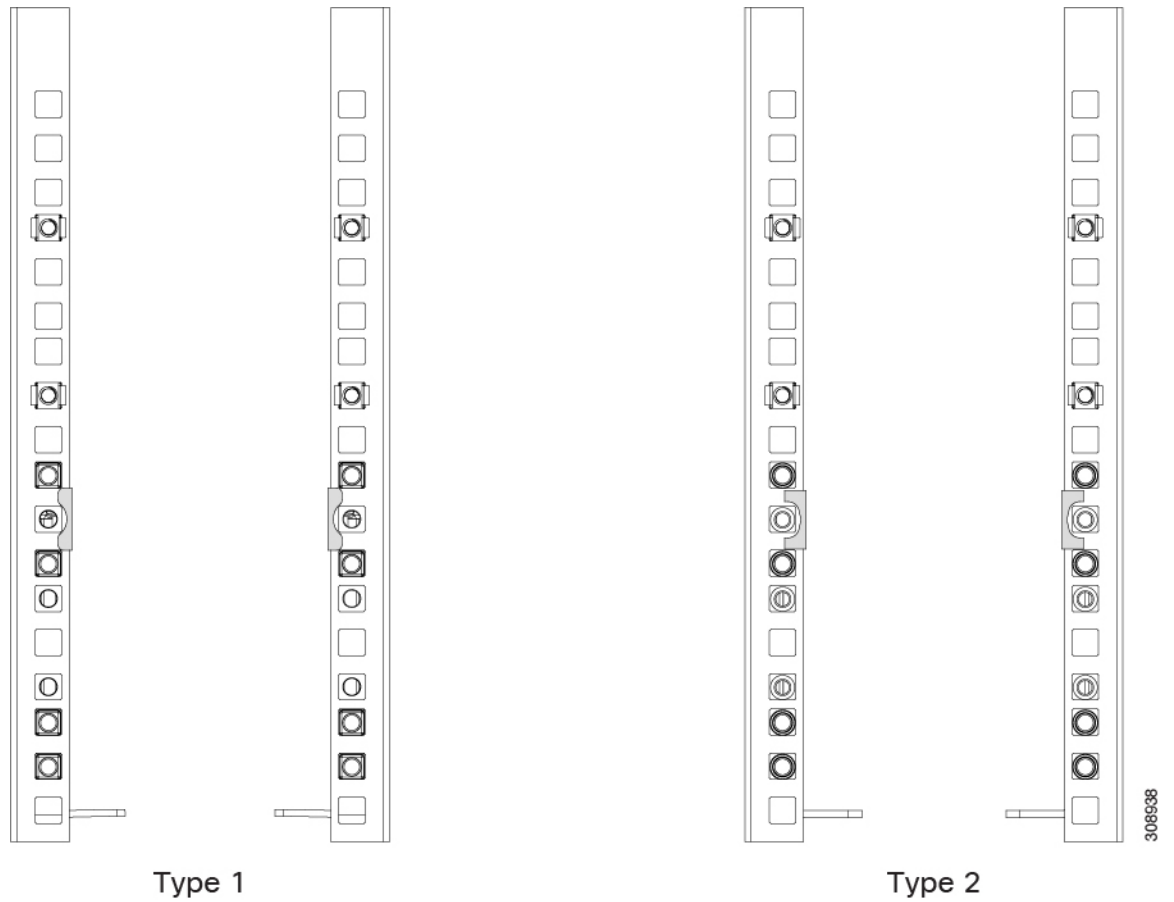
次のタスク

レールが正しく取り付けられていることを確認します。「[レール設置レイアウト、丸穴ラック \(30 ページ\)](#)」を参照してください。

レール設置レイアウト、角穴ラック

ラックにシャーシを取り付ける前に、ラックへのレールの取り付けを次のレイアウト図と比較してください。レールの取り付けが各レイアウトに示されているものと異なる場合は、レールを取り外して取り付け直します。

図 11: 前面レールのレイアウト、両方のレールキット




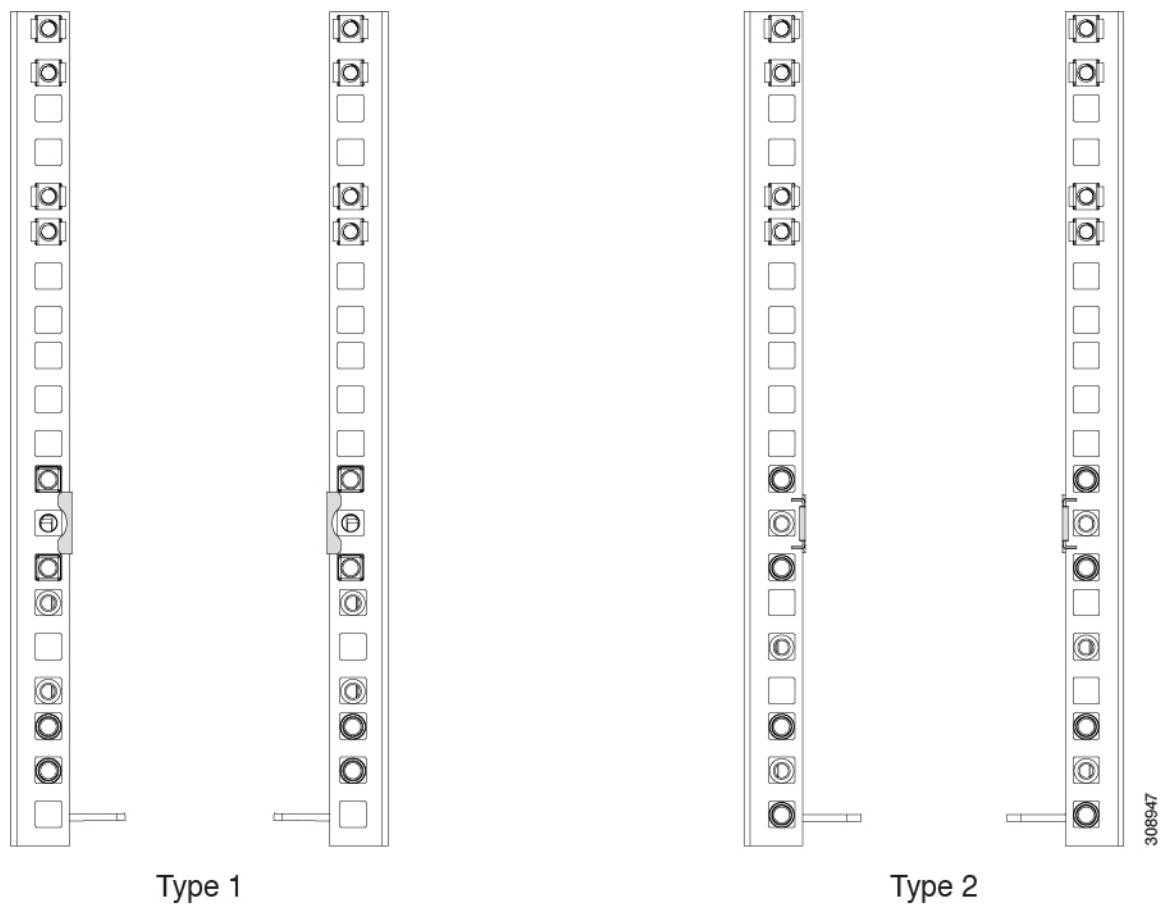
	ケージナット、角穴ラック
	空の RETMA レール ホール、角穴ラック
	レール キット用 ロケーター ペグ
 および 	レール キット用 取り付けネジ

図 12: 背面レール レイアウト、両方のレールキット

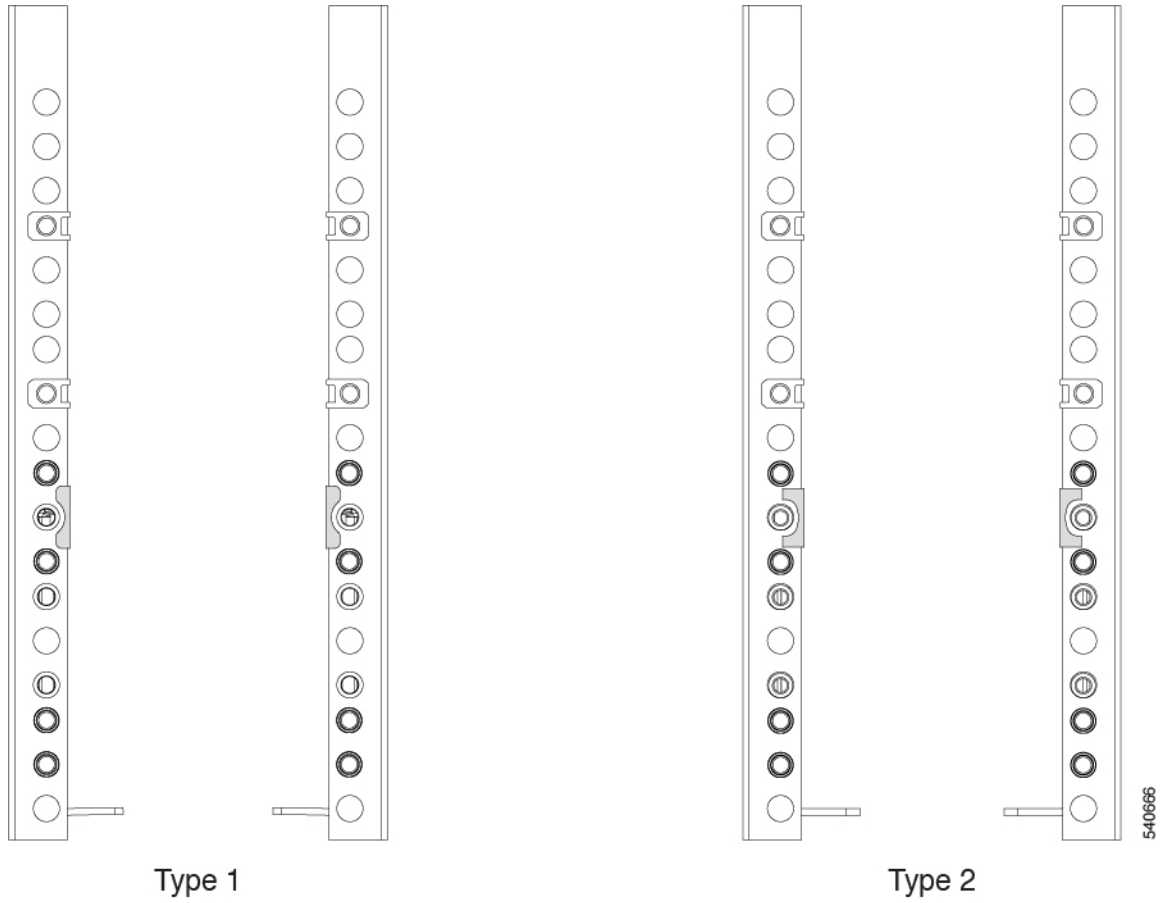


	ケージナット、角穴ラック
	空の RETMA レール ホール、角穴ラック
および	レールキット用ロケーター ペグ
および	レールキット用取り付けネジ

レール設置レイアウト、丸穴ラック

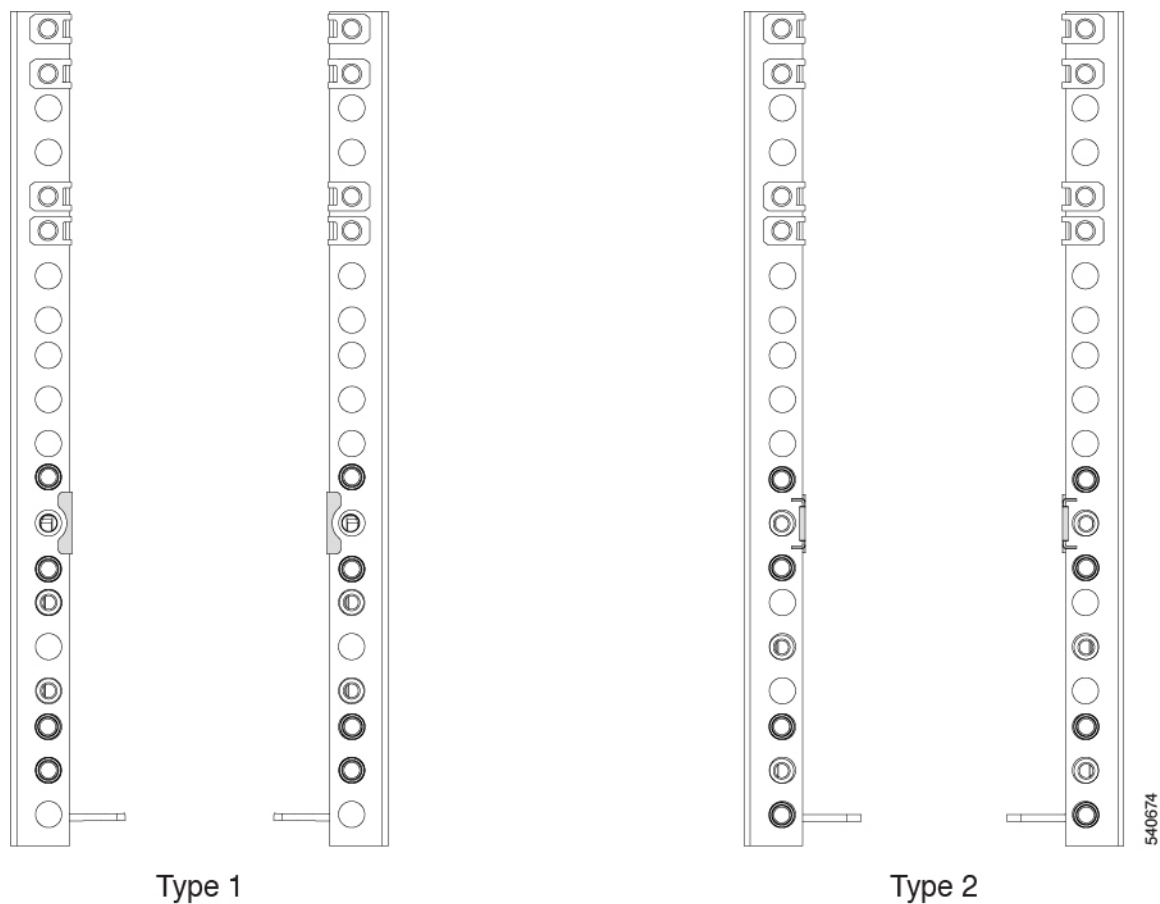
ラックにシャーシを取り付ける前に、ラックへのレールの取り付けを次のレイアウト図と比較してください。レールの取り付けが各レイアウトに示されているものと異なる場合は、レールを取り外して取り付け直します。





図 13: 前面レールのレイアウト、両方のレールキット



	丸穴ラック用スプリング ナット
	空の RETMA レール ホール、丸穴ラック
	レール キット用ロケーター ペグ
	レール キット用取り付けネジ

図 14: 背面レール レイアウト、両方のレールキット



	丸穴ラック用スプリング ナット
	空の RETMA レール ホール、丸穴ラック
	レール キット用ロケーター ペグ
	レール キット用取り付けネジ

ケーブル管理アームの取り付け

アクセサリキットには、2本のケーブル管理アセンブリが含まれています。各アセンブリは、3本のケーブル管理アームと3本のケーブルタイで構成されています。ケーブル管理アセンブリは、シャーシの電源ケーブルの収集と整理を容易にします。



(注) サーバには、IFMおよびX-Fabricモジュールからケーブルを収集して整理するためのケーブル管理トレイ (UCSX-9508-CMA) もあります。

このトピックでは、上部と下部はシャーシ上の位置を示します。ケーブル管理アームは交換可能であるため、特定の上下ケーブルアームはありません。

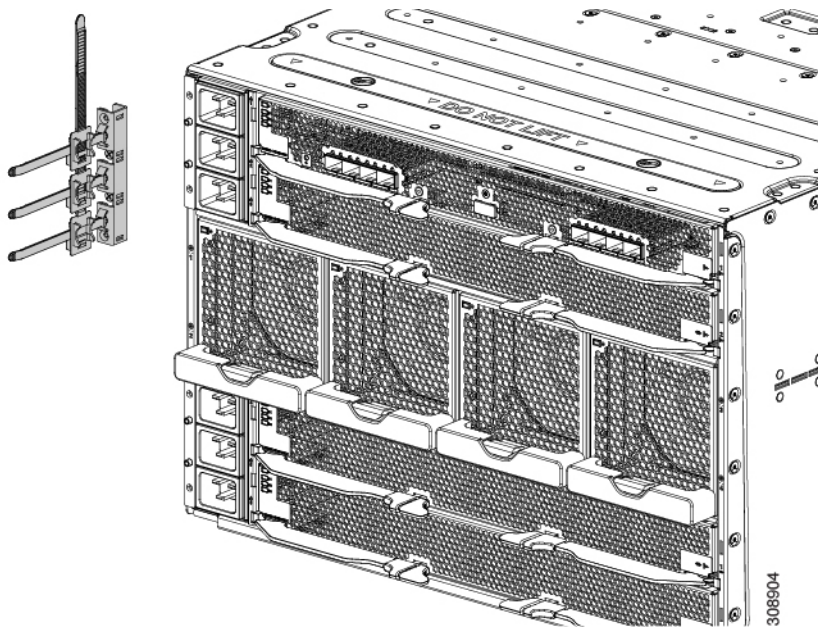
各ケーブル管理アセンブリは、3台のPSUのセット用です。上部のケーブル管理アームは、シャーシの上部のPSUセットに取り付けます。下部のケーブル管理アームは、下部のPSUセット用のアースブラケットを取り付けるため、設置手順は若干異なります。[アースブラケットと下部ケーブル管理アームの取り付け \(34 ページ\)](#) を参照してください。

シャーシをラックに取り付ける前に、この作業を使用してケーブル管理アセンブリをシャーシに取り付けます。

ステップ 1 ケーブル管理シート メタルの非脱落型ネジをシャーシのネジ式スタンドオフに合わせます。

ステップ 2 #2プラスドライバを使用して、非脱落型ネジを締めてケーブル管理アームをサーバシャーシに取り付けます。

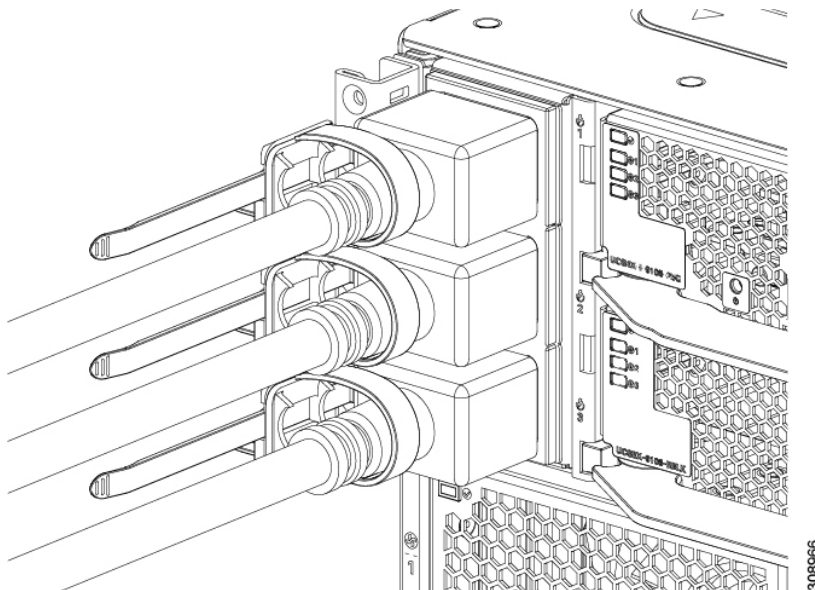
図 15: 上部ケーブル管理アームのシャーシへの取り付け



ステップ 3 ケーブルタイを水平に調整して、電源ケーブルをつかむ位置に合わせます。

ステップ 4 ケーブルタイを使用して電源ケーブルを集め、プラグを所定の位置に固定できます。

図 16: 電源ケーブルの収集



次のタスク

残りのケーブル管理アームを取り付けます。「[アースブラケットと下部ケーブル管理アームの取り付け \(34 ページ\)](#)」を参照してください。

アースブラケットと下部ケーブル管理アームの取り付け

PSUの下部セットのケーブル管理アーム (CMA) は、シャーシをアースする組み込まれたアースラグを含みます。水平の金属片は、アースケーブルを接続できるアースラグです。

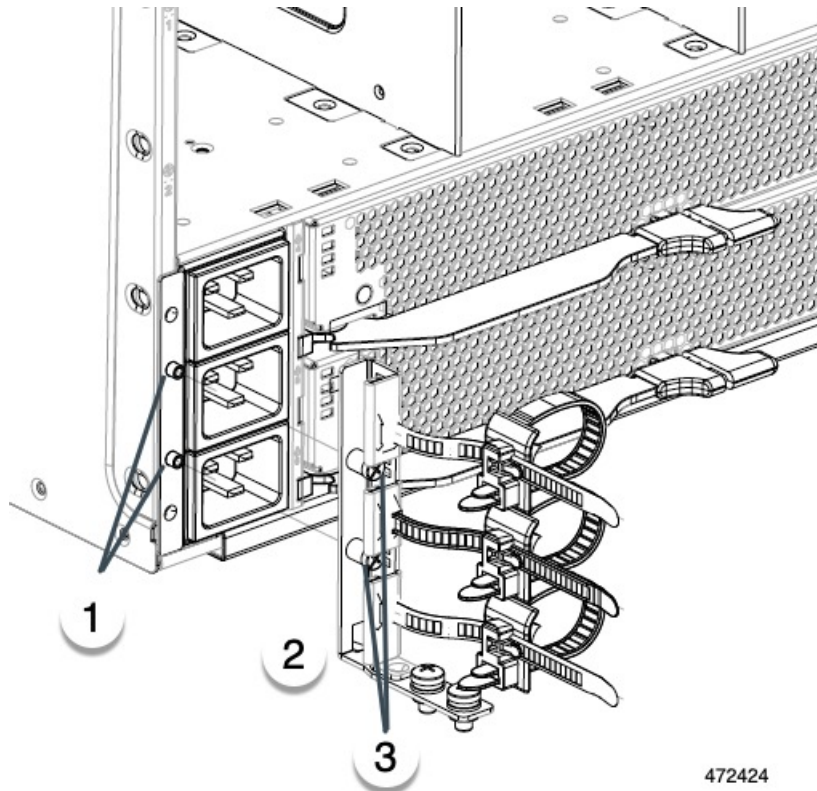


(注) このトピックでは、上部と下部は特定のケーブル管理アームを指します。ケーブル管理アームは交換できません。下部のCMAには統合されたアースラグが含まれていますが、上部のCMAには含まれていません。

追加のアース要件については、[を参照してください。アースの考慮事項 \(4 ページ\)](#)

下部のケーブル管理アームをシャーシに取り付けます。

- アースブラケットの長い側をシャーシのネジ式支柱に合わせます。
- ケーブル管理アームの非脱落型ネジをシャーシのネジ式スタンドオフに合わせます。



1	シャーシのネジ山付きのスタンドオフ	2	下部CMA、長辺をスタンドオフに揃える
3	CMAの非脱落型ネジ		

- c) #2プラスドライバを使用して、非脱落型ネジを締めてケーブル管理アームをサーバーシャーシに固定します。

角穴ラックへのシャーシの挿入

始める前に

レールが前面と背面のレイアウトに示されているとおりに取り付けられていることをまだ確認していない場合は、ここで確認します。[レール設置レイアウト](#)、[角穴ラック \(28 ページ\)](#) を参照してください。

また、[Cisco UCS X9508 サーバシャーシの設置に関する注意事項 \(1 ページ\)](#) も確認してください。

シャーシは、シスコが提供するアースラグまたは同等品によってアースする必要があります。の「アースラグ」を参照してください。[アースの考慮事項 \(4 ページ\)](#)



注意 この手順を開始する前に、レールが正しく取り付けられ、すべてのレールキットの取り付けネジが取り付けられ、締められていることを確認してください。



重要 シャーシ、モジュール、ノード、およびコンポーネントを扱うときは、常に手と指に注意してください。シャーシを輸送用コンテナまたは機器ラックに出し入れする場合など、狭い場所や狭い場所では、手や指を挟む危険性があります。

ピンチの可能性を排除するものではありませんが、シャーシには、取り扱いと移動を容易にするための把握ポイントが定義されています。シャーシの把握ポイントについては、[シャーシの取り扱い \(5 ページ\)](#) を参照してください。

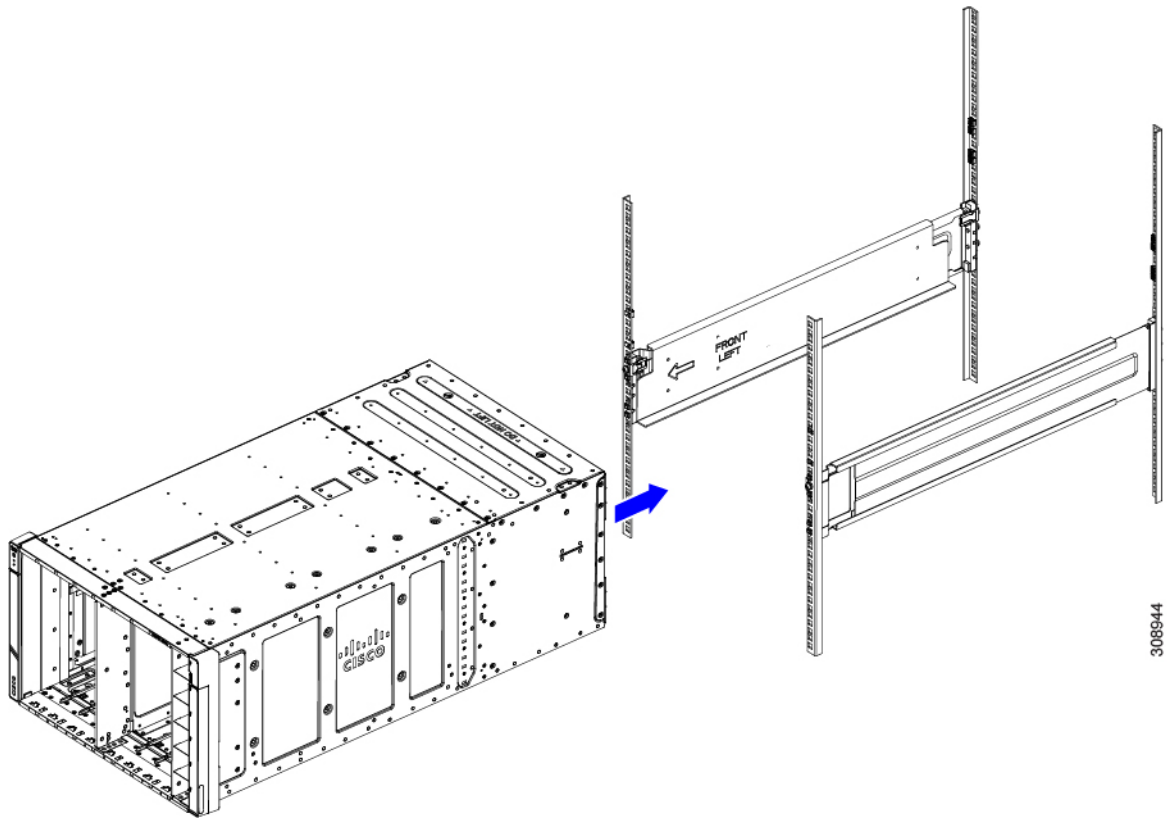


ヒント シャーシの移動は、他に手伝ってくれる人がいる方が簡単です。

ステップ1 シザーズジャッキ、シャーシリフト、またはその他の機械装置を使用して、シャーシを持ち上げ、ラックにスライドできるように配置します。

ステップ2 フロントフランジがケージナットに対して水平になるまで、シャーシをラックに押し込みます。

図 17: ラックへのシャーシの取り付け



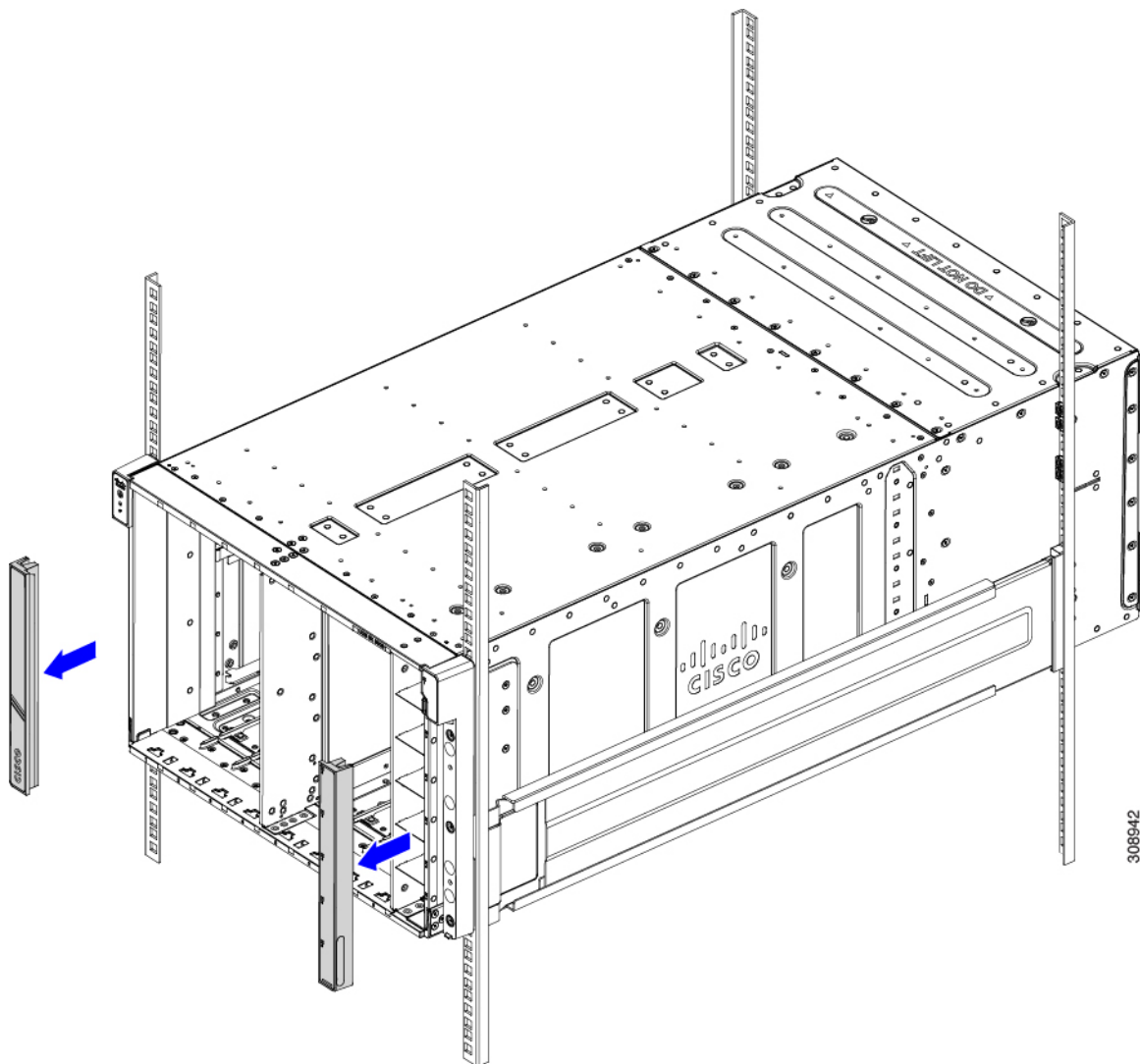
ステップ 3 シャーシの前面で、各サイドトリムパネルをシャーシから取り外します。

サイドトリムパネルは磁気で固定されているため、簡単に取り外すことができます。

サイドトリムパネルを取り外すと、各前面取り付けブラケットのネジ穴が露出します。

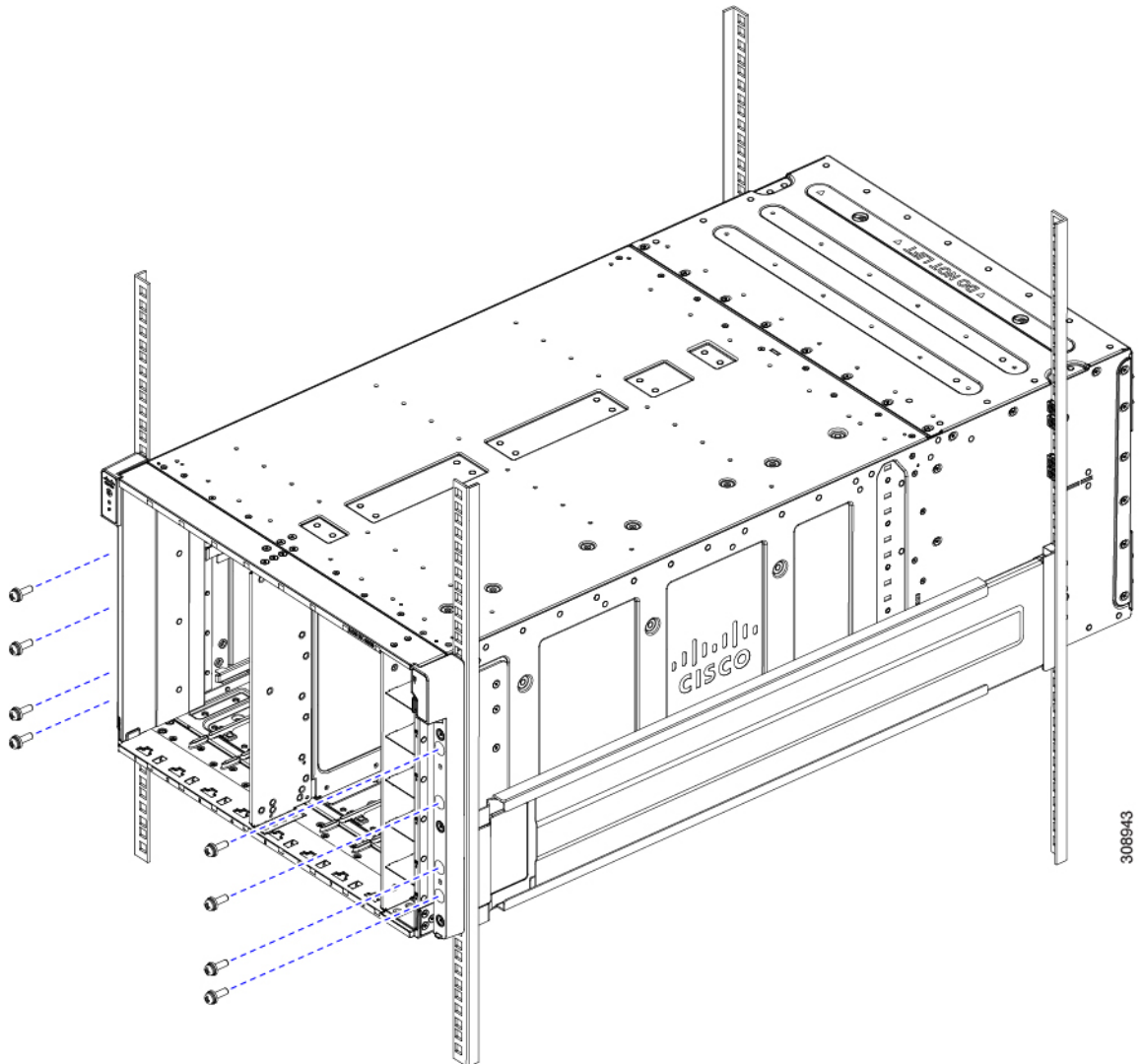
(注) サイドトリムパネルは安全な場所に保管してください。シャーシを取り付けたら交換します。

図 18: シャーシのサイドトリムパネルの取り外し



ステップ 4 シャーシの前面で、#3 プラスドライバを使用して 8 本の M6 x 20 mm ネジを前面の取り付けフランジに通して締めます。

図 19: シャーシの前面をラックに固定する

**ステップ 5** 適切なオプションを選択してください。

- a) シャーシをラックに取り付けた状態で出荷する場合は、背面取り付けブラケットを取り付けます。出荷可能なラックにシャーシを設置して輸送する場合は、背面取り付けブラケットを取り付けます。[リアマウントブラケットの取り付け、角穴ラック \(43 ページ\)](#) を参照してください。
- b) 固定ラックにシャーシを設置する場合は、設置手順を続行します。「[インストールの完了 \(47 ページ\)](#)」を参照してください。

丸穴ラックへのシャーシの挿入

始める前に

レールが前面と背面のレイアウトに示されているとおりに取り付けられていることをまだ確認していない場合は、ここで確認します。[レール設置レイアウト](#)、[丸穴ラック \(30 ページ\)](#) を参照してください。

また、[Cisco UCS X9508 サーバシャーシの設置に関する注意事項 \(1 ページ\)](#) も確認してください。

シャーシは、シスコが提供するアースラグまたは同等品によってアースする必要があります。の「アースラグ」を参照してください。[アースの考慮事項 \(4 ページ\)](#)



注意 この手順を開始する前に、レールが正しく取り付けられ、すべてのレールキットの取り付けネジが取り付けられ、締められていることを確認してください。



重要 シャーシ、モジュール、ノード、およびコンポーネントを扱うときは、常に手と指に注意してください。シャーシを輸送用コンテナまたは機器ラックに出し入れする場合など、狭い場所や狭い場所では、手や指を挟む危険性があります。

ピンチの可能性を排除するものではありませんが、シャーシには、取り扱いと移動を容易にするための把握ポイントが定義されています。シャーシの把握ポイントについては、[シャーシの取り扱い \(5 ページ\)](#) を参照してください。

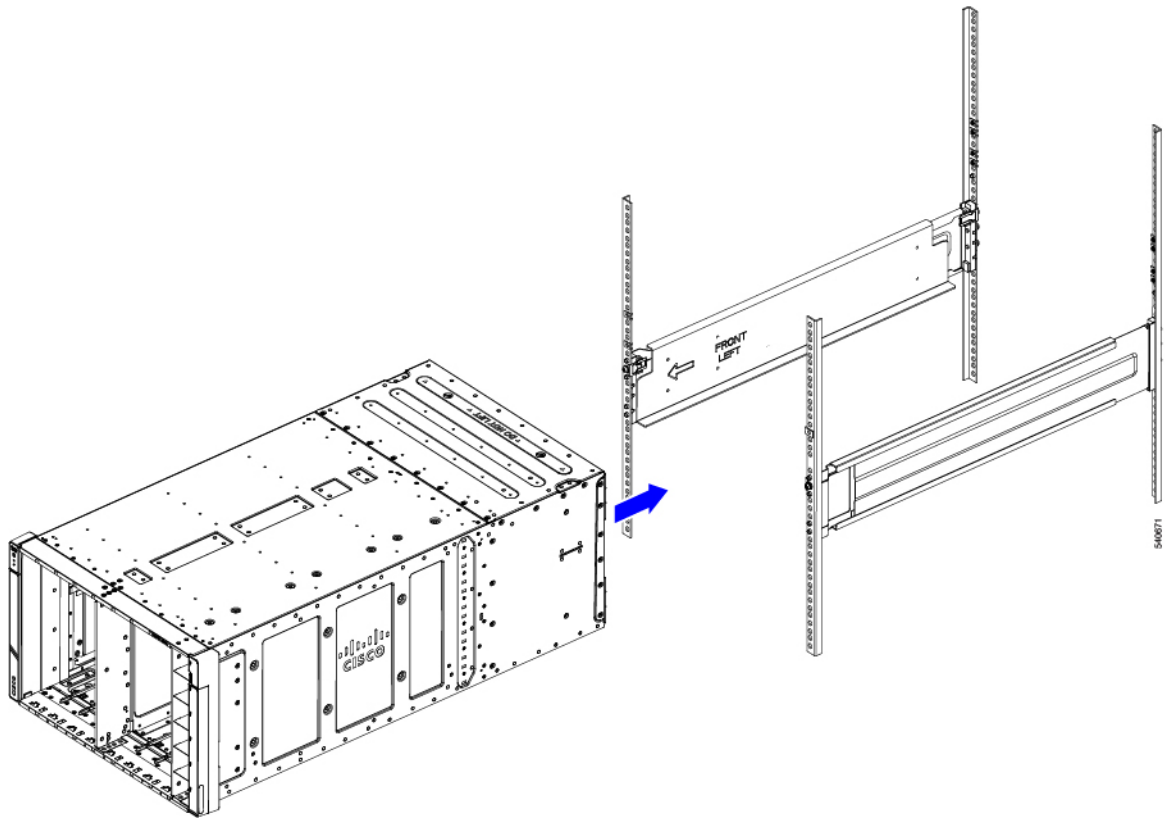


ヒント シャーシの移動は、他に手伝ってくれる人がいる方が簡単です。

ステップ 1 シザーズジャッキ、シャーシリフト、またはその他の機械装置を使用して、シャーシを持ち上げ、ラックにスライドできるように配置します。

ステップ 2 フロント フランジがケージナット (スプリング ナット) に対して水平になるまで、シャーシをラックに押し込みます。

図 20: ラックへのシャーシの取り付け



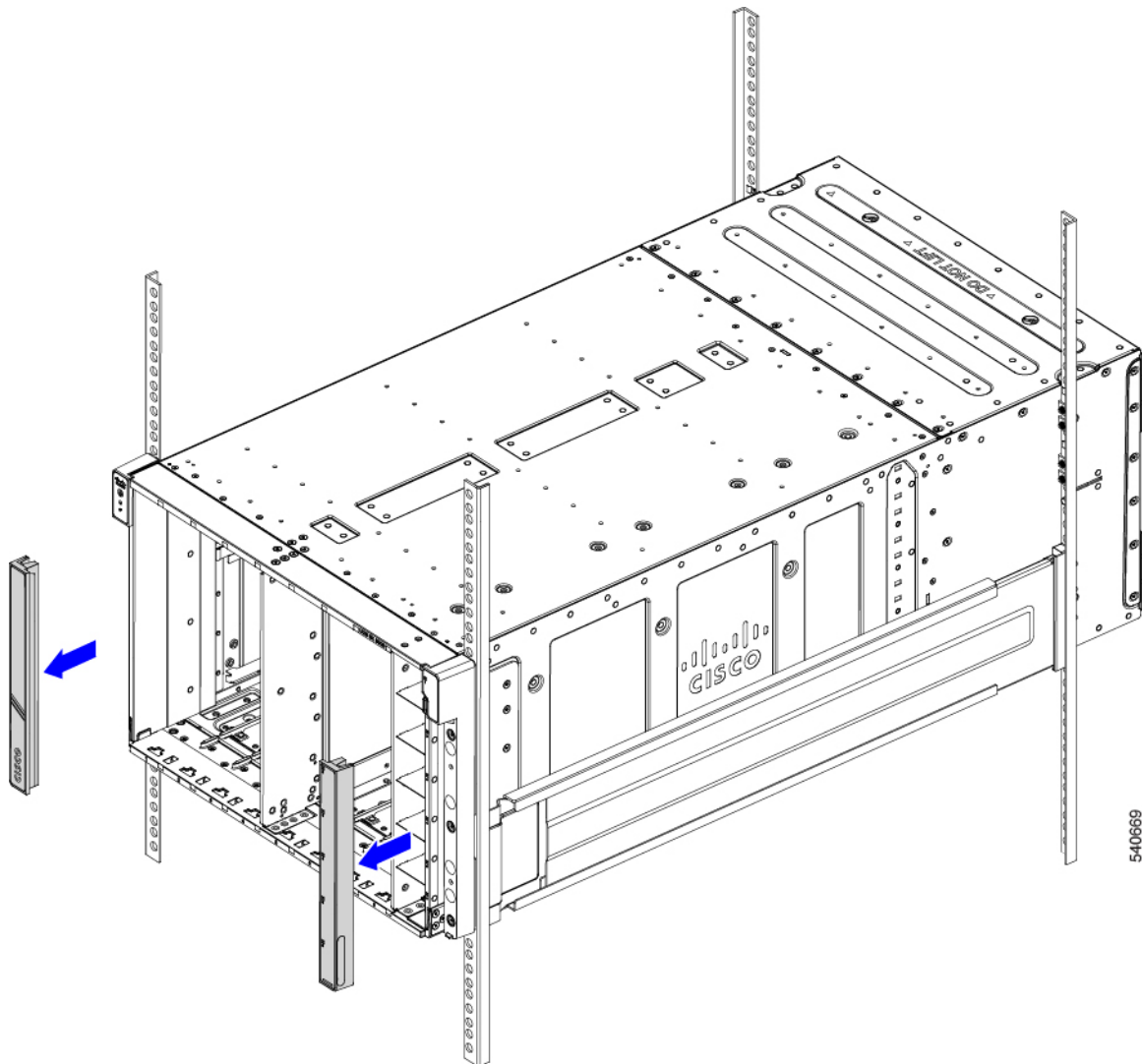
ステップ3 シャーシの前面で、各サイドトリムパネルをシャーシから取り外します。

サイドトリムパネルは磁気で固定されているため、簡単に取り外すことができます。

サイドトリムパネルを取り外すと、各前面取り付けブラケットのネジ穴が露出します。

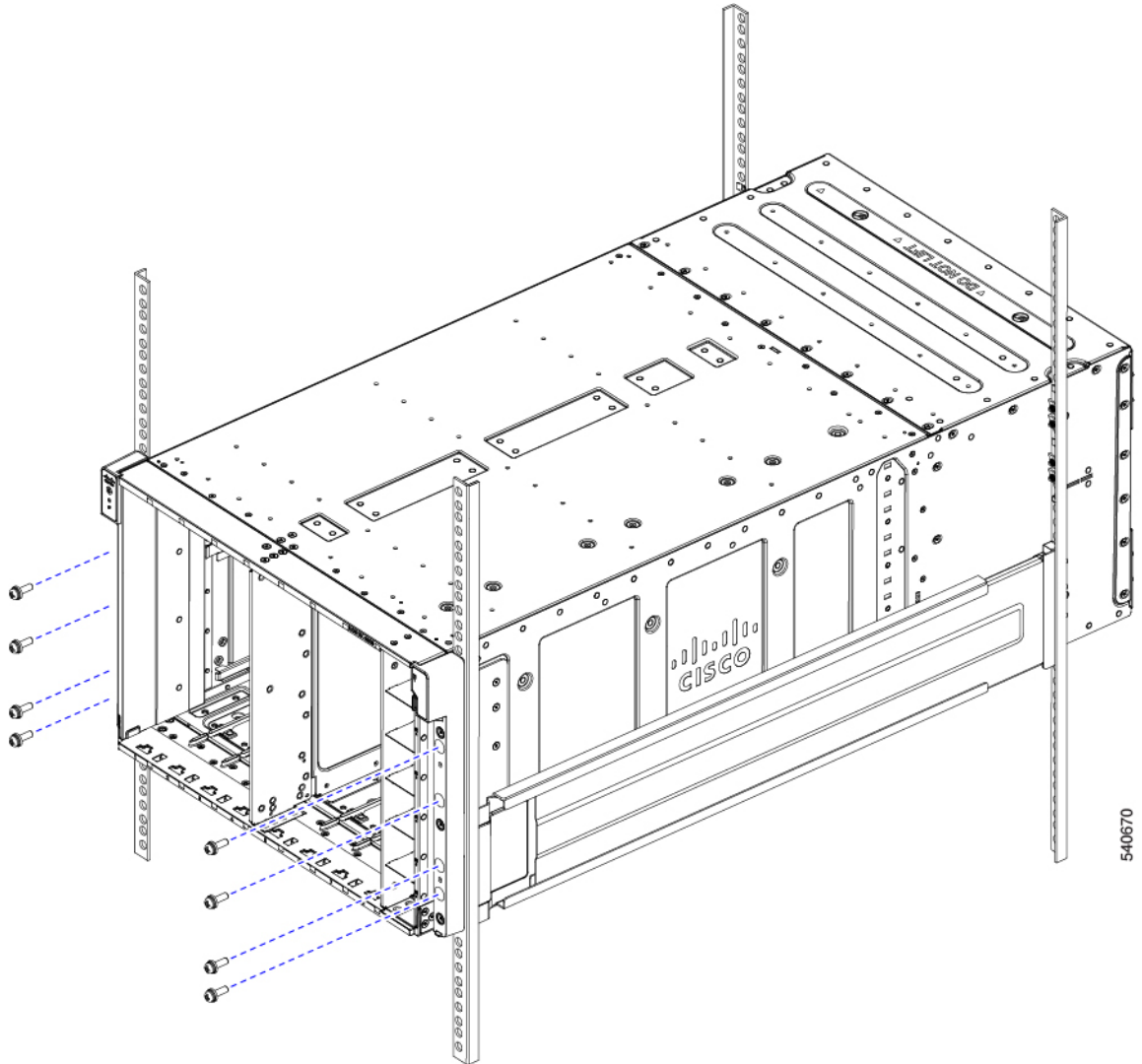
(注) サイドトリムパネルは安全な場所に保管してください。シャーシを取り付けたら交換します。

図 21: シャーシのサイドトリムパネルの取り外し



ステップ 4 シャーシの前面で、#3 プラスドライバーを使用して 8 本の M6 x 20 mm ネジを前面の取り付けフランジに通して締めます。

図 22: シャーシの前面をラックに固定する



ステップ 5 適切なオプションを選択してください。

- シャーシをラックに取り付けた状態で出荷する場合は、背面取り付けブラケットを取り付けます。出荷可能なラックにシャーシを設置して輸送する場合は、背面取り付けブラケットを取り付けます。[リアマウントブラケットの取り付け、丸穴ラック \(45 ページ\)](#) を参照してください。
- 固定ラックにシャーシを設置する場合は、設置手順を続行します。「[インストールの完了 \(47 ページ\)](#)」を参照してください。

リアマウントブラケットの取り付け、角穴ラック

この手順を使用して、ラックに事前に取り付けられていないシャーシにリアマウント（固定）ブラケット（UCSX-9508-RACKBK）を取り付けます。

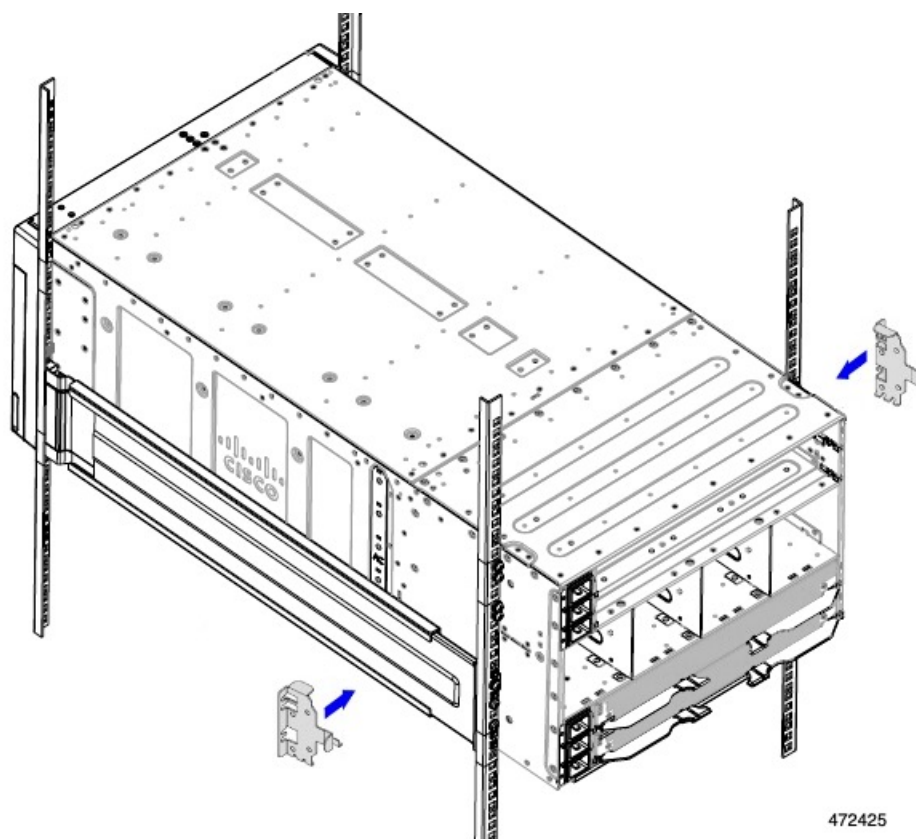
始める前に

シャーシがラックに取り付けられた状態で出荷された場合、リアマウントブラケットはすでに取り付けられています。

ステップ1 シャーシの背面で、上部に折りたたまれたタブと下部に折りたたまれた金属製のフックがある各背面取り付けブラケットを取り付けます。

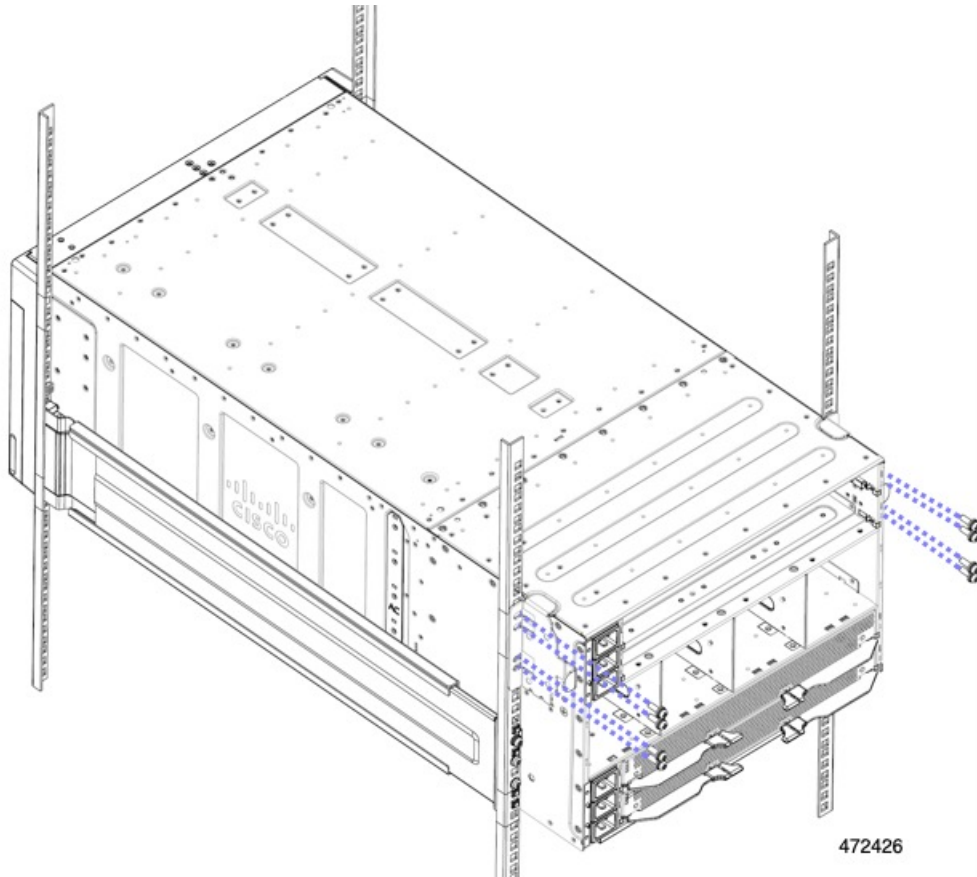
- a) フックをシャーシ側面の切り欠きに差し込みます。
- b) タブがシャーシ上部のエンボスに収まるまで、各背面取り付けブラケットをスライドさせます。

図 23: リアマウントブラケットの取り付け、角穴ラック



ステップ2 背面取り付けブラケットを所定の位置に保持し、#3 プラスドライバを使用して8本の M6 X 20 mm ネジを背面取り付けブラケットに差し込み、ネジを締めてシャーシの背面をラックの背面に固定します。

図 24: シャーシをラックに固定する、角穴ラック



次のタスク

シャーシのラックへの取り付けを完了します。「[インストールの完了 \(47 ページ\)](#)」に進みます。

リアマウントブラケットの取り付け、丸穴ラック

この手順を使用して、ラックに事前に取り付けられていないシャーシにリアマウント（固定）ブラケット（UCSX-9508-RACKBK）を取り付けます。

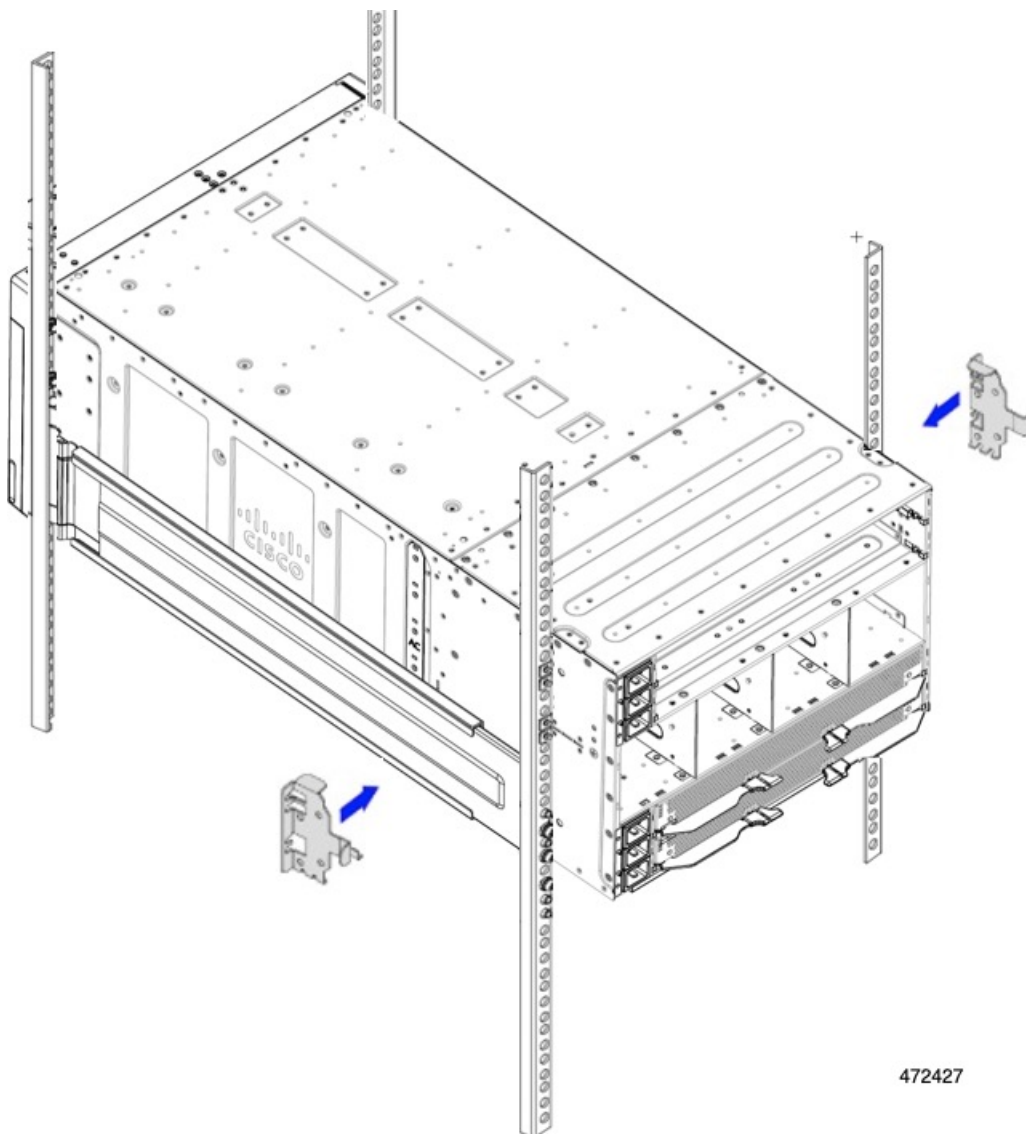
始める前に

シャーシがラックに取り付けられた状態で出荷された場合、リアマウントブラケットはすでに取り付けられています。

ステップ1 シャーシの背面で、上部に折りたたまれたタブと下部に折りたたまれた金属製のフックがある各背面取り付けブラケットを取り付けます。

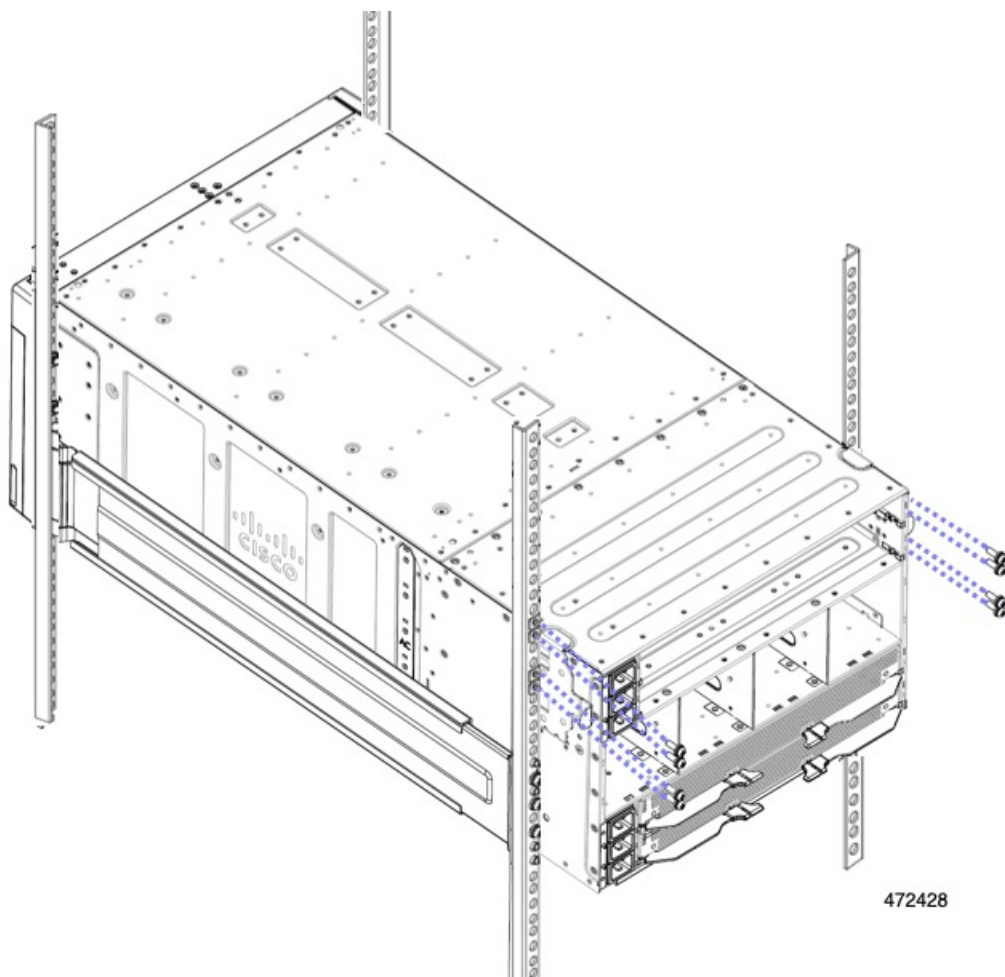
- a) フックをシャーシ側面の切り欠きに差し込みます。
- b) タブがシャーシ上部のエンボスに収まるまで、各背面取り付けブラケットをスライドさせます。

図 25: 背面取り付けブラケットの取り付け



ステップ2 背面取り付けブラケットを所定の位置に保持し、#3 プラスドライバを使用して8本の M6 X 20 mm ネジを背面取り付けブラケットに差し込み、ネジを締めてシャーシの背面をラックの背面に固定します。

図 26: シャーシの背部をラックに固定する



次のタスク

シャーシのラックへの取り付けを完了します。「[インストールの完了 \(47 ページ\)](#)」に進みます。

インストールの完了

シャーシの取り付けを続行します。

ステップ 1 レールとシャーシの前面および背面の取り付けネジがすべてきつく締められていること、およびシャーシがラックに固定されていることを確認します。

ステップ 2 シャーシの前面で、サイドトリムパネルを取り付けます。

サイドトリムパネルは磁気で取り付けられるため、工具は必要ありません。

ステップ3 すべての人と装置がシャーシの下にないことを確認し、リフトを下げて取り外します。

ステップ4 必要に応じて、追加の IFM、PSU、ノード、またはその他のシャーシコンポーネントを取り付けます。

ステップ5 シャーシの電源を投入するには、取り付け済みの各電源装置に対応する電源コネクタに適切な電源ケーブルを接続してから、ケーブルのもう一方の端を電源に接続します。特定の構成に必要な電源装置の数を決定するには、[Cisco UCS Power Calculator](#) ツールを使用します。

(注) 電源の冗長システムの両方のグリッドには、同じ数の電源装置が必要です。システムにグリッド電源 (N+N 冗長性) が構成されている場合、スロット1、2および3はグリッド1に、スロット4、5および6はグリッド2に割り当てられます。6つ未満の電源 (PS) がグリッド冗長モードで構成されている場合、グリッド1とグリッド2のスロット間で均等に分散する必要があります。

ステップ6 残りのケーブルを接続してシャーシとノードにファブリック接続を提供し、シャーシとそのコンポーネントがランタイムで動作していることを確認するために LED を視覚的に検査します。

アースオプションの選択

Cisco UCS X9508 サーバシャーシは、次のいずれかのオプションを使用して施設のアースに接続できます。

- シャーシの片側のアースポイントを介してアースケーブルをシャーシに直接接続するためのサイドマウント。このオプションの場合は、[ここに移動します](#)。[サイドマウントアースの接続 \(48 ページ\)](#)
- 背面マウント。シャーシ背面の背面取り付けブラケットの1つに取り付けられたアースブラケットにアースケーブルを接続します。このオプションの場合は、[背面マウントアースの接続 \(50 ページ\)](#) に移動します。

インストールに適したオプションを選択します。どちらのオプションでも、アースラグをアースケーブルの端に圧着してアースケーブルを組み立てる必要があります。アースラグの詳細については、「アースラグ」を参照してください。[アースの考慮事項 \(4 ページ\)](#)

サイドマウントアースの接続

サイドマウントアースを接続するには、アースラグをアースケーブルに接続し、シャーシシートメタルの指定されたアース点にケーブルを接続します。指定されたアースは、シャーシの側面にあります。

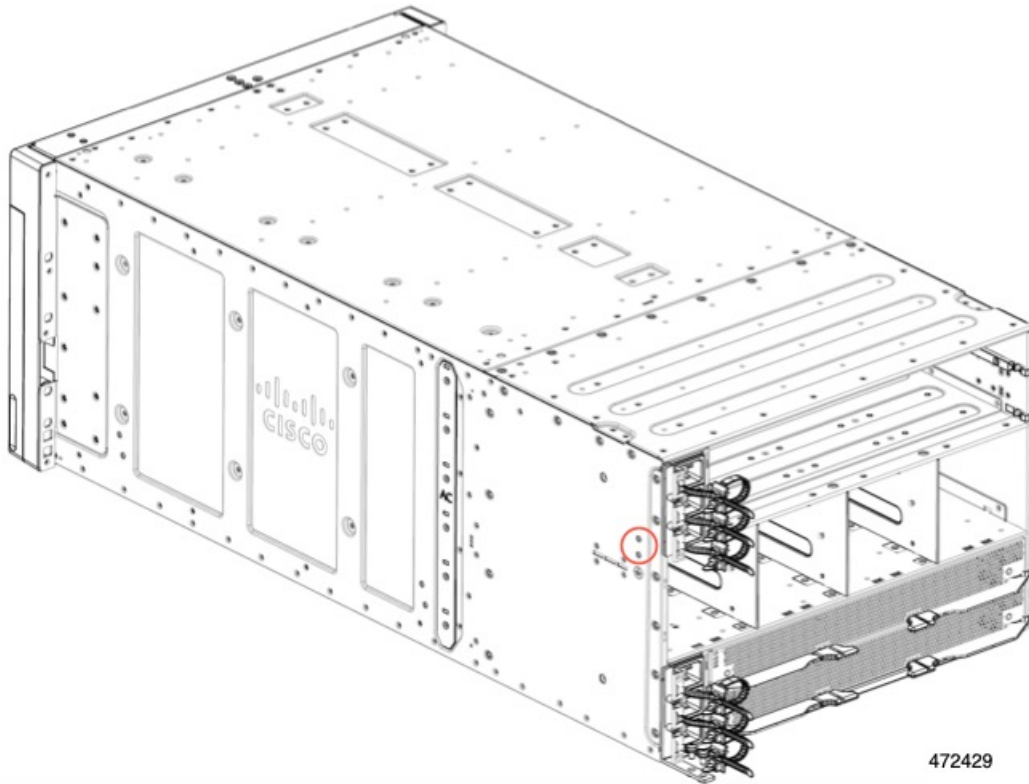


(注) シャーシには、シャーシの背面に取り付ける特定のアースブラケットを使用したアース用のリアマウントオプションもあります。詳細については、[背面マウントアースの接続 \(50 ページ\)](#) を参照してください。

施設のアースケーブルは、シスコが提供するアースラグまたは同等品で終端処理する必要があります。詳細については、「アースラグ」を参照してください。[アースの考慮事項 \(4 ページ\)](#)

ステップ1 アース用のサイドマウント取り付けポイント用の2つのネジ穴の位置を確認します。

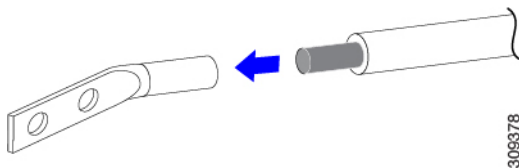
サイドマウントアタッチメントポイントには、アース記号 () が付いています。



ステップ2 アース ケーブルを組み立てます。

- ワイヤストリッパを使用して、アース ケーブルの端から 0.75 インチ (19 mm) ほど、被膜をはがします。
- むき出しになったアース ケーブルの端を、アース ラグの開放端に差し込みます。

米国で設置する場合は、6-AWG 線をお勧めします。国または地域に応じて、適切なアース ケーブルとアース ワイヤを使用してください。



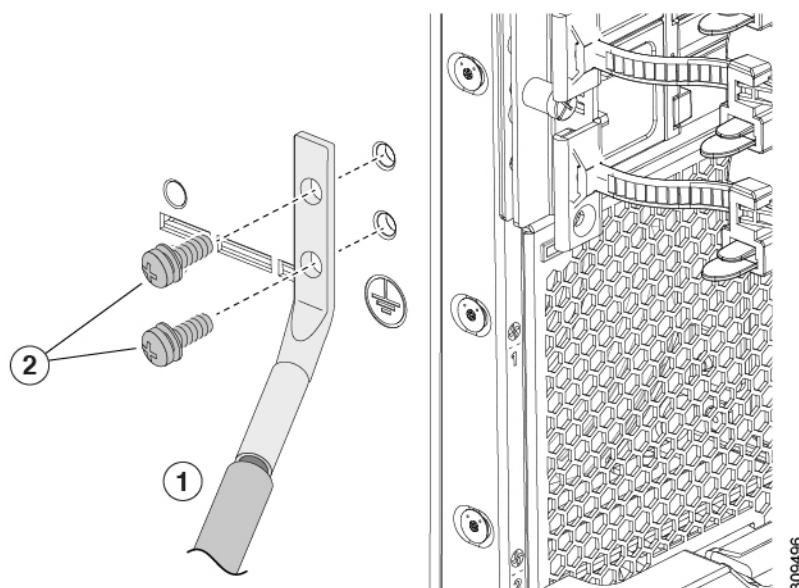
- 圧着工具を使用して、アース ラグにアース ケーブルを固定します。

d) アースケーブルの反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続します。

(注) シャーシが完全に設置されたら、サイドマウントアースポイントを背面取り付けブラケットの前に配置します。そのため、アースケーブルを接続するのに十分なスペースが必要です。

ステップ3 アースケーブルをシャーシ側面のアースポイントに接続します。

- a) アースラグを配置します。
- b) アースラグの端子穴をシャーシ側面の端子穴に合わせます。
- c) #2プラスドライバを使用して、2本の M5 X 10 mm なベネジを挿入して締め、アースケーブルをシャーシの側面に固定します。



1	ラグがシャーシのアースポイントに配置されたアースケーブル	2	アースケーブルをネジで留め、サイドマウントアースポイントに固定します。
---	------------------------------	---	-------------------------------------

背面マウントアースの接続

シャーシを施設のアースに接続するには、下部の PSU セットの側面にあるシャーシアースラグを使用します。

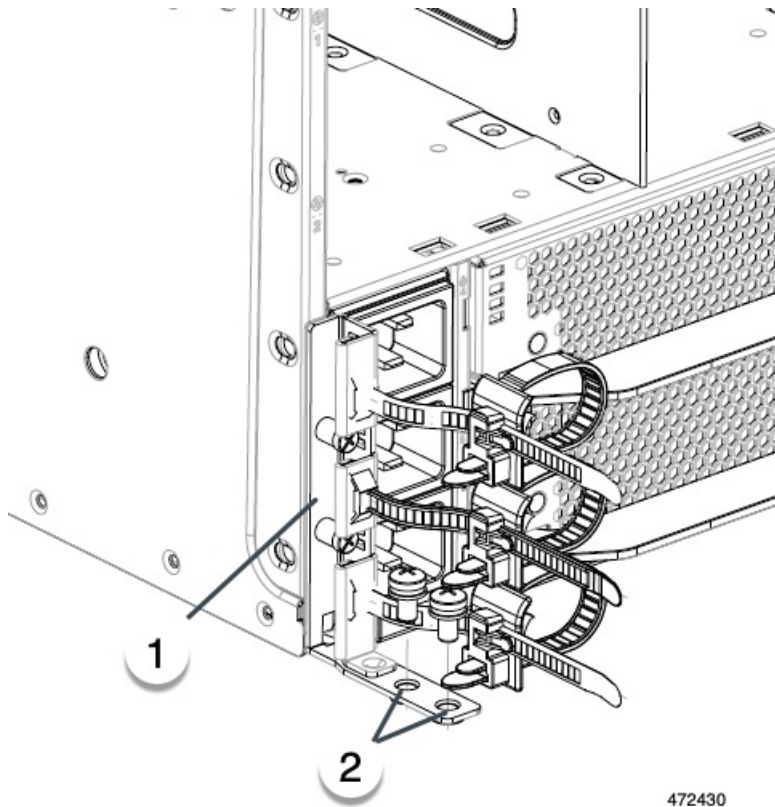
施設のアースケーブルは、シスコが提供するアースラグまたは同等品で終端処理する必要があります。詳細については、「アースラグ」を参照してください。[アースの考慮事項 \(4ページ\)](#)

シャーシをアースに接続するには、以下の手順に従います。

始める前に

この手順では、アースラグが付属した状態で、下部ケーブル管理ブラケットが取り付けられていることを前提としています。詳細については、[アースブラケットと下部ケーブル管理アームの取り付け \(34 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ1 下部 CMA とアース ラグが正しく取り付けられていることを確認します。インストールされていない場合は、ここでインストールします。[アースブラケットと下部ケーブル管理アームの取り付け \(34 ページ\)](#) を参照してください。

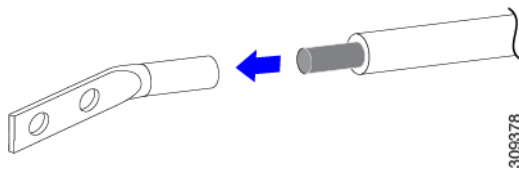


1	アースラグが統合された下部 CMA	2	アース ケーブルを取り付けるための端子穴
---	-------------------	---	----------------------

ステップ2 アース ケーブルを組み立てます。

- a) ワイヤストリッパを使用して、アース ケーブルの端から 0.75 インチ (19 mm) ほど、被膜をはがします。
- b) むき出しになったアース ケーブルの端を、アース ラグの開放端に差し込みます。

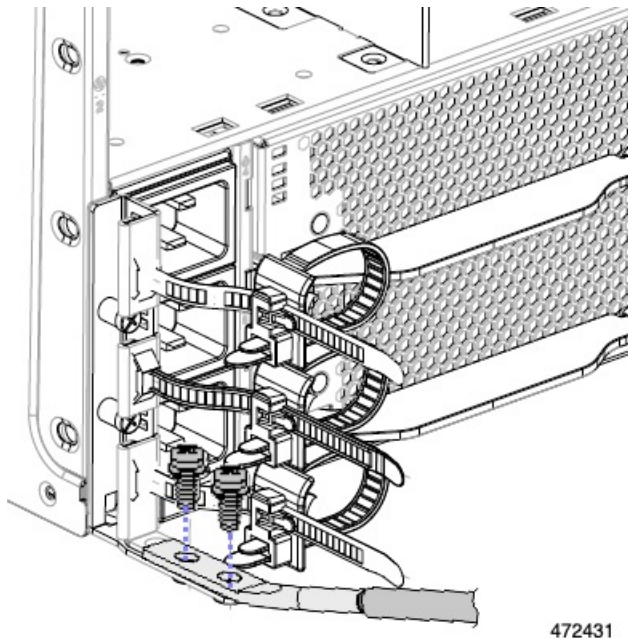
米国で設置する場合は、6-AWG 線をお勧めします。国または地域に応じて、適切なアース ケーブルとアース ワイヤを使用してください。



- c) 圧着工具を使用して、アース ラグにアース ケーブルを固定します。
- d) アース ケーブルの反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続します。

ステップ3 アース ケーブルをアース ラグに接続します。

- a) アース ケーブルをアース ラグの上に配置します。
- b) アースラグの端子穴をアースブラケットの端子穴に合わせます。
- c) #2 プラス ドライバを使用して、2 本の M5 X 10 mm なベネジを挿入して締め、アース ケーブルをアース ラグに固定します。



ステップ4 アース ケーブルをシャーシの邪魔にならないように配線し、曲げ半径を超えるなどしてアース ケーブルを損傷しないようにしてください。

ステップ5 シャーシをアースに接続したら、PSU ケーブルを接続してシャーシの電源を入れます。

ケーブル管理トレイの接続

Cisco UCS X9508 サーバシャーシには、インテリジェントファブリックモジュール (IFM) ケーブルのケーブルを整理するための最大 4 つのケーブル管理トレイ (UCSX-9508-CMA) があります。トレイは交換可能であるため、IFM ケーブルに使用できます。シャーシの上下に特定のケーブル管理トレイはありません。

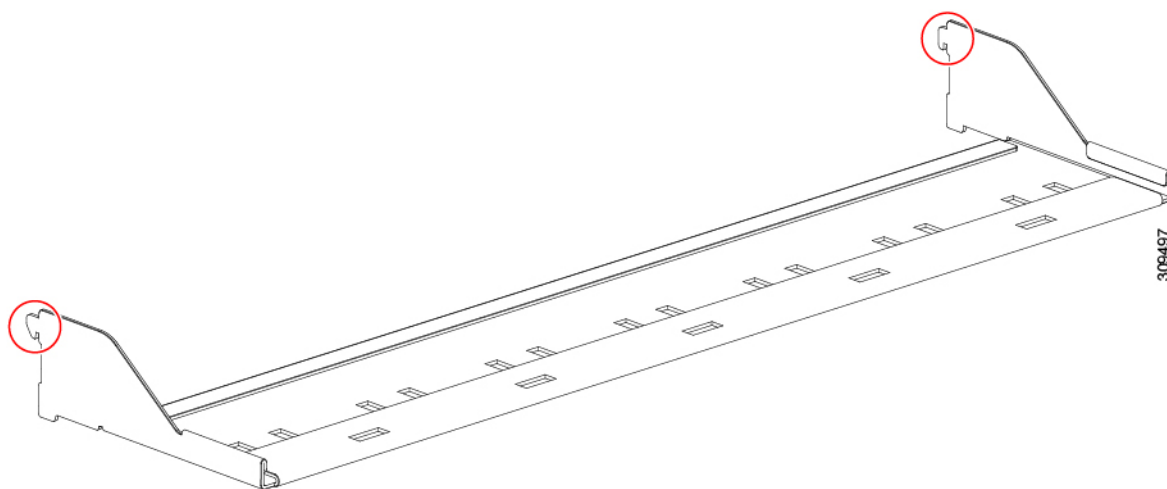
Cisco UCS X9508 サーバシャーシに取り付けられた IFM ごとに 1 つのトレイを使用できますが、すべての IFM ケーブルに 1 つのトレイを使用することを推奨します。



(注) シャーシには、PSU ケーブルを整理するケーブル管理アームもあります。ケーブル管理アームは、IFM ケーブルを整理するケーブル管理トレイとは異なります。

ケーブル管理トレイは IFM の前面にあるため、ケーブル管理トレイを取り外して IFM にアクセスできるようにする必要があります。たとえば、IFM 2 にアクセスする必要がある場合は、ケーブル管理トレイ 2

ケーブル管理トレイは、各トレイの背面上部にあるフックでサーバシャーシに取り付けます。



ケーブル管理トレイの取り付けまたは取り外しを行うには、次の手順を実行します。

- [ケーブル管理トレイの取り付け](#) (53 ページ)
- [ケーブル管理トレイの取り外し](#) (55 ページ)

ケーブル管理トレイの取り付け

IFM ケーブルの場合、ケーブル管理トレイを使用してケーブルをまとめて整理できます。トレイは、サーバシャーシのシートメタルの切り込みに取り付けます。

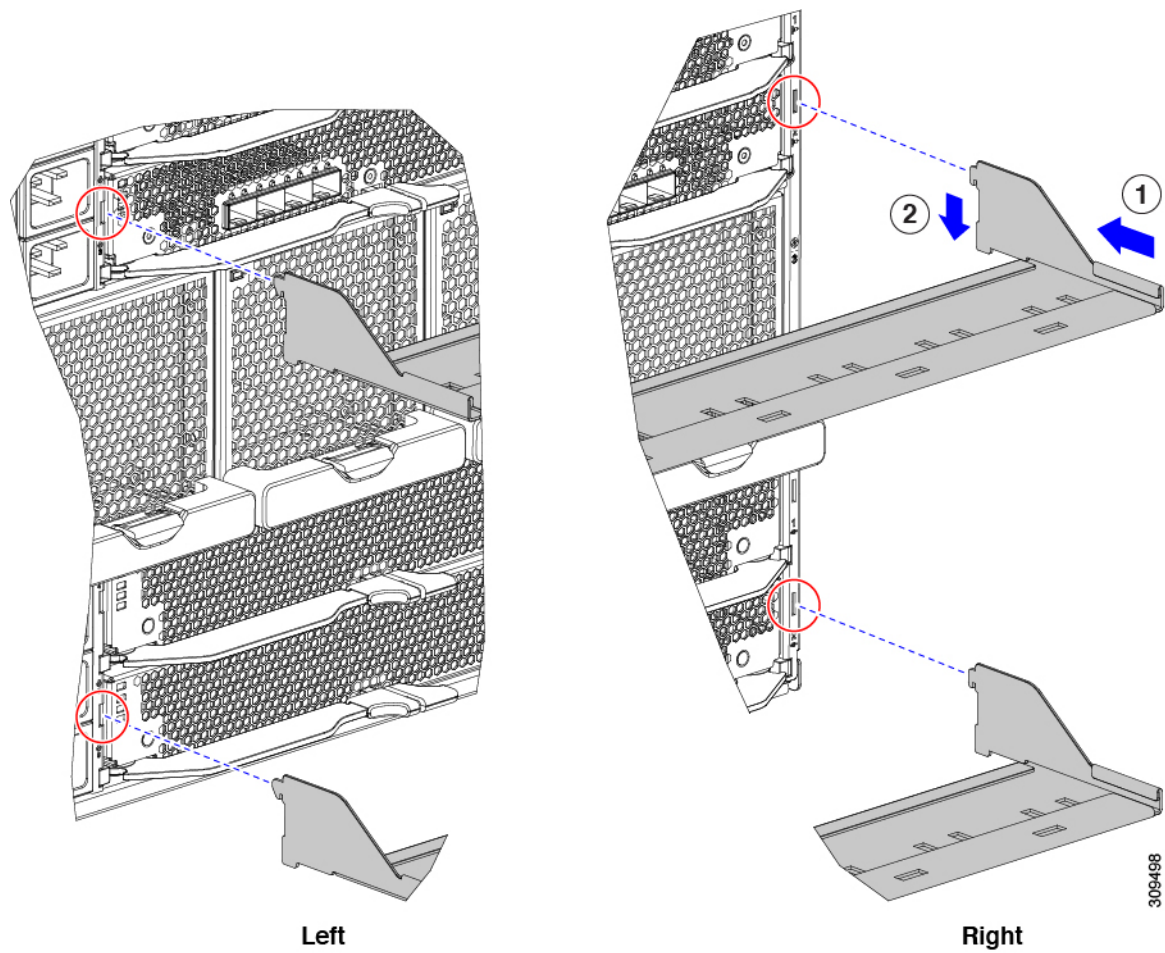
ケーブル管理トレイを取り付けるには、次の手順を使用します。

ステップ 1 フックが上部になり、シャーシに面するようにケーブル管理トレイを向けます。

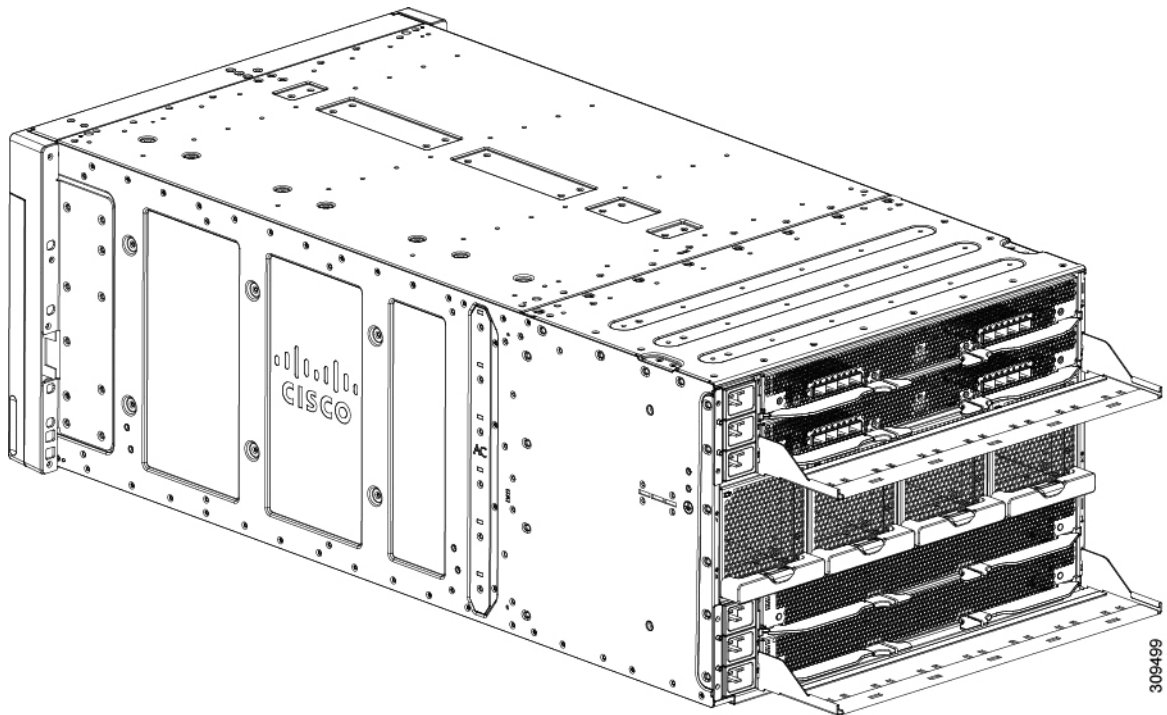
ステップ 2 ケーブル管理トレイをシャーシに取り付けます。

- a) ケーブル管理トレイのフックをサーバシャーシの長方形の切り込みに合わせます。
- b) ケーブル管理トレイを水平に保持し、フックをノッチに挿入します。
- c) ケーブル管理トレイがシャーシと同一面になったら、フックを押し下げてノッチに固定します。

ケーブル管理トレイの取り付け



ステップ3 必要に応じてこの手順を繰り返し、他のケーブル管理トレイを取り付けます。



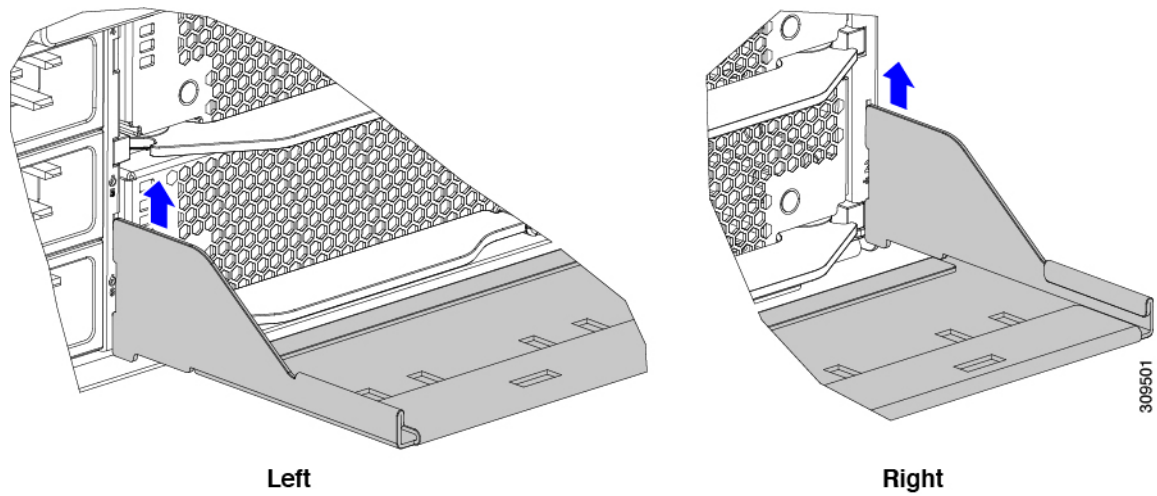
ステップ4 必要に応じて IFM ケーブルを接続します。

ケーブル管理トレイの取り外し

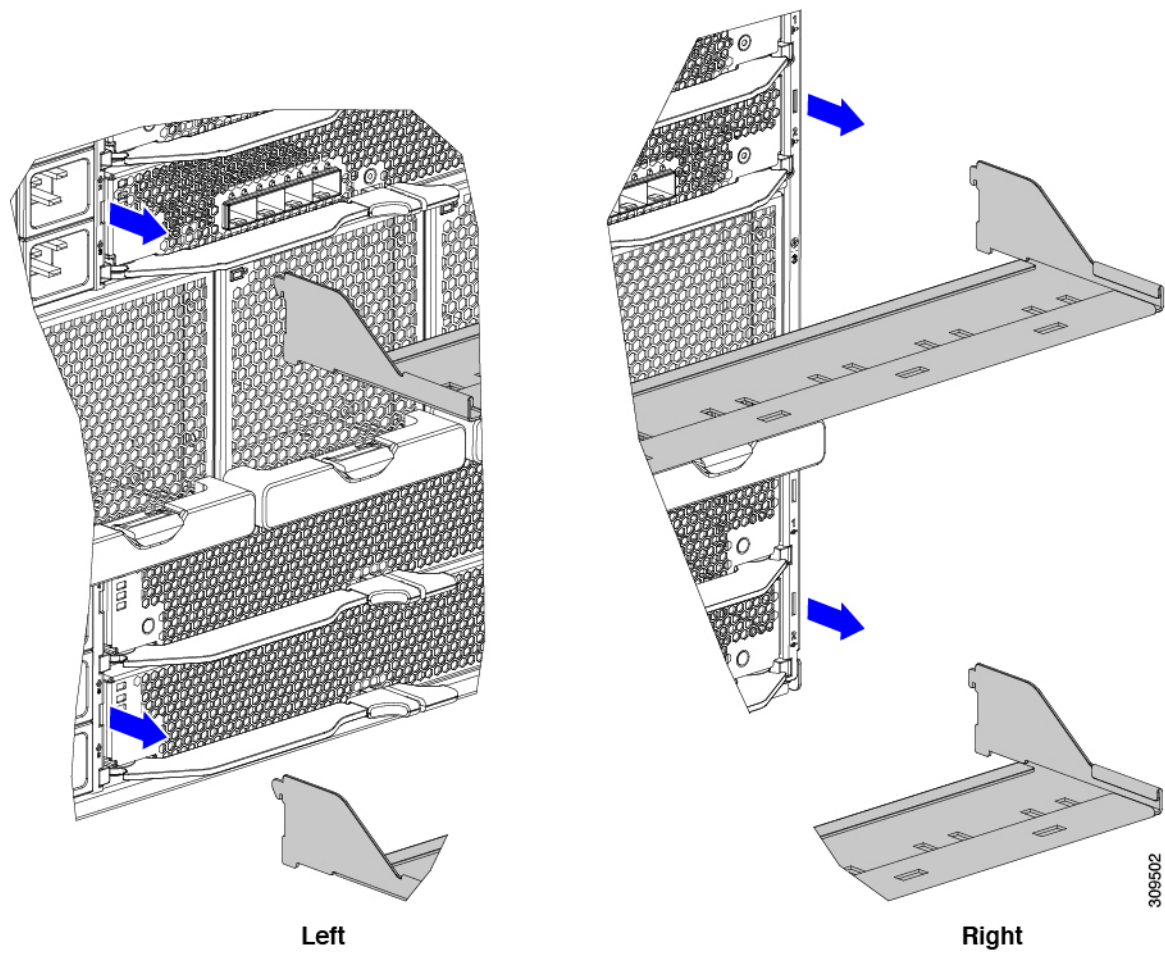
ケーブル管理トレイを取り外すには、次の手順を使用します。

- ステップ1** (オプション) ケーブル管理トレイに簡単にアクセスできるように、ケーブルを取り外すか持ち上げます。
- ステップ2** ケーブル管理トレイをシャーシから取り外します。
- ケーブル管理トレイの各隅で、トレイが上にスライドしなくなるまで、均等に力を加えてトレイをシャーシの切り欠きに入れます。

ケーブル管理トレイの取り外し



b) ケーブル管理トレイを水平に持ち、手前に引いてシャーシからトレイを取り外します。



ラックからのシャーシの取り外し

ステップ 1 Cisco Intersight を使用して、次の操作を実行します。

- a) シャーシ内のすべてのノードの OS をシャットダウンします。
- b) Smart Call Home 機能をディセーブルにします。
- c) シャーシの稼働を中止します。

ステップ 2 シャーシから電源コードとネットワーク ケーブルを外します。

ステップ 3 シャーシからすべてのモジュール、ファン、電源、およびノードを取り外し、重量を軽くします。

ステップ 4 前面のラックマウント フランジをラックに固定しているネジを外します。

ステップ 5 2人でシャーシを持ち、シャーシの重量が完全に支えられていることを確認します。

重要 シャーシ、モジュール、コンピューティングノード、およびコンポーネントを扱うときは、常に手と指に注意してください。シャーシを輸送用コンテナまたは機器ラックに出し入れする場合など、狭い場所や狭い場所では、手や指を挟む危険性があります。

ピンチの可能性を排除するものではありませんが、シャーシには、取り扱いと移動を容易にするための把握ポイントが定義されています。シャーシの把握ポイントについては、[シャーシの取り扱い \(5 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 6 シャーシをゆっくりとレールから引き出し、ラックから取り外します。

ステップ 7 サーバー シャーシのモジュール、ファン、電源、およびノードを交換します。

製品を返品する場合は、[シャーシの再梱包 \(57 ページ\)](#) に進みます。

シャーシの再梱包

シャーシを再梱包する場合には、次の [ラックからのシャーシの取り外し \(57 ページ\)](#) セクションの手順に従ってシャーシをラックから取り外します。

返送用にシャーシを再梱包する場合は、次の点に注意してください。



警告 空のシャーシのみを持ち上げてください。すべての PSU、ファン、ノード、インテリジェント ファブリック モジュール、および X-Fabric モジュールがシャーシから取り外されていることを確認してから、シャーシをラックから取り出して梱包して発送してください。



警告 シャーシをラックから取り出したら、シャーシを下部パレットに置く前に、必ずハンドルをシャーシに取り付けてください。ハンドルは、シャーシを下部パレットにボルトで固定するブラケットも固定します。

可能であれば、納入時に使用されていた梱包材と箱を使用してシャーシを梱包します。

必要に応じて、PID UCSX-9508-PKG =を使用してシスコからスペアパッケージを注文できます。

シャーシをシスコに返品する場合は、シスコへの返品輸送を手配するためにシスコカスタマーサービス担当者にご連絡ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。